



Environment Media Management Art The heritage German
Environment Media Management Art The heritage German
Environment Media Management Art The heritage German

Media Management
Environment Media Management



平成20年度 新潟大学副専攻制度

Heritage German
The heritage German
The heritage German



Media Management Art The heritage German
Environment Media Management Art The heritage German

Art The heritage German
The heritage German



新潟大学

はじめに

皆さんは、将来を考えて選択した専門分野での勉学を深めることを目的に、大学に入学されたことと思います。もちろん、高校生の段階では専門領域の詳細について十分に理解されていないと思いますし、また、将来の設計がきちんとできているわけではないでしょう。したがって、確信を持って学科選択したわけではない人もいるのではないかと思います。しかし、深さの程度は様々であるにしても、皆さん方は専門分野での勉学意欲をお持ちのことと思います。

しかし、高等学校までの勉学が、専門分野での勉学の準備として必ずしも充分ではないことも事実です。また、大学で、専門分野を狭く考えて勉強したのでは、将来、社会に出た時に、必ずや自らの識見の狭さに直面することになると思います。大学では、バランスのとれた能力を身につけることを目的に、専門教育と並列して教養教育という教育プログラムを用意してきました。しかし、従来の教養教育がその目的を十分に果たしてきたかという点、必ずしもそうとは言えません。その結果として、学生の知的関心の狭隘化や専門分野の理解の浅薄化を招き、今日、社会からは大学卒業生の基礎学力の低下が指摘されています。基礎学力低下は日本の将来を考えると極めて重大な問題であり、大学には、早急にその克服に努める責務があります。

そのような状況に対応することを目的に、新潟大学では平成16年度から学部教育を学士課程教育と捉えて抜本的改革に着手しました。その一つが「分野・水準表示法」を基礎とした「副専攻制度」の導入です。

副専攻制度

副専攻制度は、所属学部学科の学位とは別に、特定分野の学習成果を認証する制度です。専門分野の勉学の成果は、卒業時に「学士」という称号を得ることで、社会的に認知されます。しかし、従来、専門分野以外の分野について、学習成果を認証する制度はありませんでした。仮に法学部の学生が社会的関心に触発されて、一定水準以上の環境科学の勉学を行ったとしても、それは社会的には認知してもらえませんでした。副専攻制度は、当該専門分野以外の科目を一定単位数以上取得した学生に、その勉学の認証を付与する制度です。学生は卒業にあたって副専攻認定の申請を行います。定められた基準を満たしていることが確認されれば、専門分野に関わる「学士」の卒業証書に加え、分野を明記した「副専攻」を認定する文書を発行します。先の例のような学生は、卒業時に「学士(法学)」の学位に加えて、大学で環境科学を学んだ公的な証明として、環境学の副専攻認定が受けられます。副専攻認定に触発されて、自主的に環境学分野で一定水準以上の学習をした法学部学生は、きっと社会の中でその経験を活かしていけるはずです。

副専攻には、「課題別副専攻」と「分野別副専攻」の2タイプが設けられています。「課題別副専攻」は、全学で開設されている授業科目を分野横断的に統合した「テーマカリキュラム」が提示されます。一方、「分野別副専攻」は特定の学問分野の授業科目から作られたプログラムが提示されます。提示されている科目から一定の要件を満たすように選択履修して、一定レベル以上の成績で単位を取得した時、副専攻履修者としての認定を得ることができます。平成20年度は両者を併せて20のプログラムが提示されています。学生の皆さんは提示されているプログラムの概要、達成目標、さらに、科目リストの内容を吟味し、認定取得に挑戦していただきたいと思います。

これらの制度は、学生が自立的に学ぶ意欲を持つ時に初めて有効なものとなることは忘れてはいけません。分野・水準表示法は、学生の自主的学習を支援する基礎的な道具であり、副専攻制度は勉学意欲を励ますための施策です。これらの制度が、学生の皆さんの専門的学習に加えて、自ら多元的理解力や統合的理解力を育む上で役に立つことを期待しています。

分野・水準表示法

分野・水準表示法は新潟大学で開講されているすべての科目に、分野と水準を示すコードを統一的に付けたものです。これにより、新潟大学の全開設科目を分野別一覧表の形で見ることができます。科目には水準を示すコードが付してありますので、各科目の難易度を明確に把握し、科目の相互関係や体系性を理解することができます。

「生物学」分野を例に、分野・水準表示法の有効性を説明します。生物学分野の科目は、理学部はもちろん、教育人間科学部、農学部、工学部でも開講されています。平成20年度開設科目一覧には、それら全ての科目が掲載されており、それらには、分野・水準コードが付されています。

生物学とは関連が薄い学科の学生で、なんらかの生物学関連科目を履修し、初めて触れた生物学に興味を引かれる人がいるかもしれません。そのような人がもう少し深く生物学を学んでみようと思った時、開設科目一覧の分野別の科目リストを見て、少し専門的な科目の履修に挑戦する可能性が開かれます。

また、生物学関連領域である農学部の学生が、専門の勉学の中で触れた生物学の基礎概念をさらに極めたいと思った時にも、科目リストは役に立ちます。また、専門に必要な生物学的基礎の不足を感じた場合でも、科目表から適切な授業科目を見つけて挑戦することができるでしょう。

理学部で生物学を学ぶ学生にとっては、教育人間科学部、農学部、あるいは工学部でも生物学に関わる科目が開講されていることを知ることは重要です。他学部で開講されている関連科目から、生物学の新しい展開を知ることが出来るかもしれません。また、生物学の学習を進める中で、数学や物理学、化学分野の基礎が不可欠であることを痛感した時にも、分野・水準コードが付いた開設科目一覧を活用できるでしょう。

文系理系に関わらずすべての分野でも状況は同じです。意欲さえあれば、分野・水準コードを手がかりにして、所属学部にとらわれず、新潟大学の全教員を自らの勉学に活用することが可能です。分野・水準コードが付いた開設科目一覧を利用して自立的な学習計画が立てられれば、総合大学である新潟大学に入学した利点を十二分に生かして、幅広い勉学も、深い勉学も可能となります。そして、このような勉学を通して大学院進学を含め、将来の選択肢が広がるとしたら、それは大きな成果と言えるでしょう。

●分野コード表

分 野		分 野		分 野	
10	情報	41	数学	65	農業工学
13	芸術	43	物理学	66	畜産学
14	健康スポーツ	44	地学	70	英語
15	生活科学	46	化学	71	外国語
16	科学社会学	47	応用化学	74	キャリア意識形成
28	哲学	49	工学基礎	75	新潟大学個性化科目
29	文学	50	機械工学	76	大学学習法
30	言語学	51	電気電子工学	77	課題研究
31	史学	52	土木工学	80	基礎医学
32	人文地理学	53	建築学	81	臨床医学
33	文化人類学・民俗学	54	材料工学	82	社会医学
34	法律学	55	プロセス工学	85	看護
35	政治学	56	人間医工学	86	福祉
36	経済学	57	生物学	87	境界医学
37	経営学	60	農学	90	基礎歯学
38	社会学	61	農芸化学	91	臨床歯学
39	心理学	62	林学	92	社会歯学
40	教育学	64	農業経済	99	その他

●水準コード表

10の位の数字	
0	全学の学生を受け入れることが可能な科目
1	当該学部（学科）の学生に限られる科目
2	教員免許など資格に関わる科目

1の位の数字	
1	大学学習法など、大学での学習を円滑にするためのもの
2	高等学校との接続を意識した水準（リメディアル）
3	通常の大学の基礎的水準
4	専門の中核的水準
5	発展的内容の科目で大学院との接続水準

●副専攻テーマプログラム一覧表

課題別副専攻
環境学
メディア・リテラシー
MOT基礎（特許・経営および製品開発基礎コース）
芸術学
文化財学
外国語（ドイツ語）
外国語（英語）
外国語（フランス語）
外国語（コリア）
外国語（ロシア語）
外国語（中国語）
世界システム論
平和学
地域学

分野別副専攻
法律学
政治学
経済学
会計学
電子・情報科学
統合化学

副専攻プログラムの申請から認定まで

1 副専攻ガイダンスの聴講

※希望者は「履修計画シート」用紙を受領し、記入の上、毎年4月～5月にコピーを教務課へ提出



2 副専攻プログラム別授業科目の聴講登録・聴講（1年次生～4年次生）

※3年次の末までに「各プログラムの入門科目」を履修する



3 副専攻プログラムの認定申請及び「履修計画シート」の提出

※4年次の1月に申請受付



4 副専攻の認定（審査）

○認定条件等（各プログラム共通）

- ①副専攻プログラムの授業科目24単位以上の修得
- ②卒業時の総修得単位数が、所属する学部の卒業要件単位数（標準124単位）＋12単位以上
- ③卒業時まで履修した全ての授業科目のGAPが2.5以上
- ④所属する主専攻課程（学部・学科）に関する科目のうち、副専攻科目としても認定される単位は最大6単位まで

5 各プログラム固有の認定条件及び授業科目

・各プログラムのページ参照

6 副専攻認定証の授与

上記4及び5の条件を満たしている学生に対して、認定プログラムの「副専攻認定証」を卒業式に授与します。

今年度からの変更点

今年度から、副専攻制度のより充実を目指して「履修計画シート」と「履修証明書」という2つの仕組みを導入することにしました。よく説明を読んで、皆さんの学習に役立ててください。

履修計画シートについて

このシートは、皆さんが計画的に副専攻を履修できるためのサポートツールです。皆さんが履修を予定する授業科目を記入し（計画）、実際にどれだけ単位取得できたのかを確認（振り返り）するものです。

各学期の始まりと、副専攻認定申請時にこのシートを提出していただきます（提出時期については、副専攻掲示板および統合型学務情報システムでお知らせします）。

このシートは専用用紙版（学務部教務課で配布）とEXCELファイル版（統合型学務情報システムで配布）があります。どちらも4年間使用しますので紛失ないようにしましょう。

記入例

副専攻 履修計画シート

このシートは、みなさんが副専攻プログラムを修了するために、計画的に履修を進める手助けとなるものです。
 毎年度、皆さんが所属する学部・学科における履修計画と同時に、本シートによる履修計画を立てることで、無理なく着実に副専攻について学び、また副専攻を修了するために、あとどのくらい履修しなければならないかを常に意識することができます。

◎記入の仕方

- ・副専攻パンフレットを参考に、履修予定の科目について「分類」「講義番号」「授業科目名」「単位」「備考（記号）」を以下の表に記入します。
- ・各授業を聴講後、単位を取得できた場合には、「履修」欄にチェックをします。
- ・現在の学年より上の年次についての計画は、記入する必要はありません。
- ・このシートはいつでも書き直すことができます。また、このシート通りに履修が進まなくても、副専攻の修了認定には影響がありません。
- ・このシートは4年間を通して使用します。紛失などないようにしましょう。

在籍番号 氏名

学部 学科(課程)

認定を希望する副専攻プログラム名

第1年次

分類	講義番号	授業科目名	単位	備考	履修
コア	S1010	情報社会論	2	A	○
コア	H3097	情報基礎論A	2	A	○
関連	G7050	メディア社会文化論A	2	A	
関連	G3217	情報を通してみた社会	2	B	○
関連	G3520	UNIXリテラシー入門	2	C	○

記入の仕方をよく読んでください。

履修を予定する科目を「新潟大学副専攻制度パンフレット」を参考に、記入します。「分類」「講義番号」「授業科目名」「単位」「備考」についてはパンフレットを参照してください。「履修」欄は、単位を取得できたものについて「○」をチェックします。

第2年次

分類	講義番号	授業科目名	単位	備考	履修
コア	Q9004	メディア表現行為論入門	1	必修	
コア	Q0044	メディア表現行為論入門IV	2	A	
関連	G7050	映像論	2	A	
関連	K8704	生活空間デザイン論	2	C	

第3年次

分類	講義番号	授業科目名	単位	備考	履修

自分の所属学年より先の学年の部分については記入しなくても構いません。

履修証明書の発行

皆さんが現在副専攻プログラムを履修中であることについて、新潟大学として証明する制度を開始いたします。要件を満たしているものに対して、下にあるような「新潟大学副専攻プログラム履修証明書」を発行いたします。

就職活動の際などに、ぜひご活用ください。

◎履修証明書発行要件

- 1 学生本人からの「申出」により発行する。
- 2 発行対象は、第3年次生及び第4年次生とする。
- 3 発行基準
 - ① 各副専攻プログラムの入門科目を履修済、又は履修中であること。
 - ② 発行申請時までの全履修科目のGPA値が、2.5以上であること。
 - ③ 副専攻科目を12単位まで履修済、又は履修中の学生とする。

証明書発行について詳しくは学務部教務課までお問い合わせください。

新潟大学副専攻プログラム履修証明書

新潟大学

農学部 農業生産科学科(課程)

3年 新潟 太郎

上記の学生は、本学が開設している下記の副専攻プログラムを履修中であることを証明します。

副専攻プログラム名

メディア・リテラシー

平成20年 4月 1日

新潟大学理事(教育担当)
新潟大学全学教育機構長

信濃 川之助 職印

平成20年度 課題別副専攻

■テーマの名称「環境学」

副専攻の概要 環境問題は、地球システムの認識に始まり、社会の経済活動に至る多様な分野に関わる問題である。人文学部、経済学部をはじめとする文系学部開設科目と理工農など自然科学学部開設科目を活用して、幅広い分野に渡る環境問題への基礎理解を促すプログラムを提供する。

副専攻のねらい 自然科学の諸分野（理学、農学、工学で「環境」がどのように取り扱われているかを理解する。更に、人文社会学系列の分野で「環境」がどのように取り扱われているのかを修得する。環境問題の本質を理解し、これらの問題を解決出来る能力を備えることをねらいとしている。

副専攻の到達目標

1. 倫理学、経済学、法学基礎知識に基づいて環境を考えることができる。
2. 生活者の視点と地球規模の視点の両面で環境を捉えることができる。
3. 複数の環境問題について、複合的視点で議論することができる。
4. 複数の自然科学分野の基礎に立って、科学的視点で環境問題を考えることができる。

副専攻委員会委員 ○赤林 伸一
・久保田喜裕
・阿部 信行

認定条件及び評価の方法

【各テーマ共通の認定条件】

- ・本副専攻プログラムが定めた授業科目から24単位以上を修得していること。
- ・卒業時の総修得単位数が、所属する学部の卒業要件単位数に12単位以上を加えたものであること。
- ・卒業時のGPAが2.5以上であること。
- ・当該学生が所属する主専攻課程（学科）に関わる科目のうち、副専攻科目として認定する単位は最大6単位とする。

【各テーマ独自の認定条件等】

- ・24単位には、A、B、Cに区分された科目をそれぞれ2科目以上含むことが必要である。
- ・コア科目からR科目を含み、12単位以上の単位取得が必要である。
- ・コア科目のうち、A、B、Cに区分された科目から、それぞれ少なくとも1科目は修得するものとする。
- ・「自然環境科学野外実習C」「環境学実習」のうち、いずれか1科目は修得するものとする。
- ・原則として、理学部自然環境科学科、農学部生産環境科学科、工学部建設学学科の学生については、本コースカリキュラムによる副専攻認定は行わない。（ただし、それらの学生の聴講を妨げるものではない。）
- ・当該学生が所属する主専攻課程（学科）に関わる科目のうち、副専攻科目として認定する単位は最大6単位とする。
- ・本副専攻プログラムが定めた授業科目から24単位以上を修得していること。

分類	授業科目名	単位	形式	授業担当者	所属	講義番号	分野	水準	備考
コア	環境学入門	1	演習	赤林 伸一・他	自然科学系(工)	080Q9001	99	03	R
コア	環境倫理学	2	講義	栗原 隆	人社・教育系(人)	080G7510	28	03	A
コア	自然と文明	2	講義	栗原 隆・他	人社・教育系(人)	080G3722	75	03	A
コア	地域環境論	2	講義	榎谷 圭司	自然科学系(工)	080T6080	32	03	A
コア	環境経済システム論Ⅰ	2	講義	藤堂 史明	人社・教育系(院現社)	080S6044	36	04	A
コア	自然環境関連法規	2	講義	箕口 秀夫・他	自然科学系(農)	080A3304	62	03	A
コア	くらしと環境	2	講義	泉宮 尊司・他	自然科学系(工)	080G6044	53	03	B
コア	環境汚染論	2	講義	湯川 靖彦	自然科学系(理)	080S6027	57	05	B
コア	地盤環境論	2	講義	久保田 喜裕	自然科学系(理)	080S6028	44	04	B
コア	建築環境計画学	2	講義	赤林 伸一	自然科学系(院自然)	080T6055	53	03	B
コア	生産環境科学概論Ⅰ	2	講義	中野 和弘・他	自然科学系(農)	080A3001	65	02	B
コア	流域管理工学	2	講義	ウイタカ	自然科学系(農)		65	03	B
コア	土壌学概論	2	講義	野中 昌法	自然科学系(農)	080A2007	61	03	B
コア	食料経済学	2	講義	木南 莉莉	自然科学系(農)	080A1101	62	04	B
コア	環境保全型農業論	2	講義	平泉 光一	自然科学系(農)	080A1106	64	04	B
コア	生物学－生態A－	2	講義	山平 寿智	自然科学系(理)	080G6523	57	03	C
コア	多様性生物学A	2	講義	高橋 正道	自然科学系(理)	080S6015	57	04	C
コア	多様性生物学B	2	講義	酒泉 満	自然科学系(理)	080S6016	57	04	C
コア	生態学	2	講義	山平 寿智	自然科学系(理)	080S6014	57	04	C
コア	環境地質学A	2	講義	卜部 厚志・他	災害復興科学センター	080S5038	44	04	C
コア	気象学	2	講義	西村 浩一	自然科学系(理)	080S6012	44	04	C
コア	エネルギー変換論	2	講義	臼井 聡	自然科学系(理)	080S6025	46	04	C
コア	生活環境の化学	2	講義	(代)大坂行徳前入野謙正(理)藤原(農)	人社・教育系(教育)	080K7551	46	04	C
コア	環境生物学野外実習C	1	実習	野崎 眞澄	自然科学系(理)	080S6041	57	14	R*
コア	環境学実習	1	実習	赤林 伸一・他	自然科学系(工)	080Q0002	99	04	R*
コア	環境学演習	1	演習	赤林 伸一・他	自然科学系(工)	080Q0003	99	05	R
関連	環境空間の倫理	2	講義	栗原 隆	人社・教育系(人文)	080K7104	28	04	A
関連	住環境科学Ⅰ	2	講義	五十嵐 由利子	人社・教育系(教育)	080K7204	15	04	B
関連	建築環境制御学Ⅱ	2	講義	赤林 伸一	自然科学系(院自然)	080T6057	53	04	B
関連	海岸工学	2	講義	泉宮 尊司	自然科学系(工)	080T6033	52	04	B
関連	都市衛生施設工学	2	講義	高橋 敬雄	自然科学系(工)	080T6085	52	04	B
関連	建築環境工学Ⅰ	2	講義	岩瀬 昭雄	自然科学系(工)	080T6052	53	03	B
関連	建築環境制御学Ⅰ	2	講義	岩瀬 昭雄	自然科学系(工)	080T6056	53	04	B
関連	酸性降下物化学	2	講義	中田 誠・他	自然科学系(院自然)	080A3706	46	04	B
関連	環境汚染物質化学	2	講義	野中 昌法	自然科学系(農)	080A2111	61	04	B
関連	肥料学	2	講義	大山 卓爾・他	自然科学系(農)	080A2104	61	04	B
関連	森林再生学	2	講義	紙谷 智彦	自然科学系(院自然)	080A3604	62	04	B
関連	Snow Hydrology	2	講義	ウイタカ	自然科学系(農)	080A3502	65	03	B
関連	農村計画	2	講義	有田 博之	自然科学系(農)	080A3507	65	03	B
関連	水資源管理工学	2	講義	三沢 眞一	自然科学系(農)		65	3	B
関連	新潟の地質・災害をさぐる	2	講義	卜部 厚志	災害復興科学センター	080G3701	75	03	C
関連	地球と気象	2	講義	(代)浮田 基郎	自然科学系(理)	080G6517	44	03	C
関連	機能形態学A	2	講義	林 八寿子	自然科学系(理)	080S6017	57	04	C
関連	機能形態学B	2	講義	濱口 哲	自然科学系(理)	080S6018	57	04	C
関連	第四紀環境変遷論	2	講義	卯田 強	自然科学系(理)	080S6010	44	04	C
関連	地形変動論	2	講義	卯田 強	自然科学系(理)	080S6011	44	04	C
関連	資源・環境論	2	講義	久保田 喜裕	自然科学系(理)	080S6009	44	04	C
関連	第四紀環境学	2	講義	立石 雅昭	自然科学系(理)	080S5037	44	04	C
関連	環境分析化学	2	講義	松岡 史郎	自然科学系(理)	080S6022	46	04	C
関連	保全生物学	2	講義	山平 寿智	自然科学系(理)	080S6020	57	05	C
関連	基礎雪氷学	2	講義	和泉 薫・他	災害復興科学センター	080G6037	44	04	C
関連	生産環境科学概論Ⅱ	2	講義	竹内 公男・他	自然科学系(農)	080A3003	62	02	C
関連	野生植物生態学	2	講義	紙谷 智彦・他	自然科学系(農)	080A3701	57	03	C
関連	保全生態学	2	講義	箕口 秀夫	自然科学系(農)	080A3301	57	03	C
関連	生態環境計測学	2	講義	村上 拓彦	自然科学系(農)	080A3705	57	04	C
関連	リモートセンシング	2	講義	阿部 信行・他	自然科学系(農)	080A3608	62	04	C
関連	環境政策学：日本の環境問題の歴史と政策の発展	2	講義	宮田 春夫	国際センター	080G3720	75	35	C

備考：Rは「必修科目」、Aは「人文社会・教育学系科目」、Bは「工学系・農学系科目」、Cは「理学系・農学系科目」を表す。
*はどちらかの科目が必修であることを表す。

平成20年度 課題別副専攻

■テーマの名称「メディア・リテラシー」

副専攻の概要 各種メディアに媒介された情報伝達が加速的に増加しつつある今日、そのようなメディア情報に関する、的確な読み取り能力と適切な表現能力、すなわちリテラシーの習熟は、不可欠である。多岐化するメディアは多くの領域に跨っており、そのようなメディア・リテラシーは、したがって、文理各分野を横断的に学修することによってこそ、十全な習得が可能となる。この副専攻では、新潟大学各学部において取り組み始められている、メディア・リテラシー教育を連繫させることにより、そのような課題に応えた、学業を支援する。

副専攻のねらい さまざまなメディアの持つ技術的、社会的、文化的な特徴を理解した上で、それらのメディアを活用した情報の受容と表現に関する活動を、的確に行うことができるようになる。

副専攻の到達目標

1. 新聞、テレビ、映画などの代表的なマスメディアについて、それぞれの表現形態上の特徴、歴史的な背景、制度・産業・文化の各次元における基盤、現況で抱える諸問題について説明できる。
2. デジタル技術が導入されつつある今日及び今後のメディア状況について、基本的な知識をふまえて批判的に分析できる。
3. 受信・受容面のみではなく発信・表現面からみたメディアの様相について理解した上で、自ら実践することができる。
4. 代表的なメディア・テクノロジーについて理解し、適切に活用できる。

副専攻委員会委員 ○北村 順生
古賀 豊
石田 美紀

認定条件及び評価の方法

【各テーマ共通の認定条件】

- ・本副専攻プログラムが定めた授業科目から24単位以上を修得していること。
- ・卒業時の総修得単位数が、所属する学部の卒業要件単位数に12単位以上を加えたものであること。
- ・卒業時のGPAが2.5以上であること。
- ・当該学生が所属する主専攻課程(学科)に関わる科目のうち、副専攻科目として認定する単位は最大6単位とする。

【各テーマ独自の認定条件等】

- ・コア科目から必修科目を含む12単位以上の単位取得が必要である。
- ・履修に際しては、備考欄に記されているA、B、Cの科目区分からそれぞれ4単位以上の単位取得が必要である。
- ・認定申請時に、所定のレポートを提出して合格すること。

分類	授業科目名	単位	形式	授業担当者	所属	講義番号	分野	水準	備考
コア	メディア表現行為論Ⅰ	1	演習	北村 順生・他	人社・教育系(人)	080Q9004	10	03	R
コア	メディア表現行為論Ⅳ	2	演習	鈴木聖二・渡辺英美子	非常勤講師	080Q0051	10	04	A
コア	情報基礎論C	2	講義	北村 順生	人社・教育系(人)	080H3072	10	03	A
コア	教育メディア論Ⅰ	2	講義	生田 孝至	人社・教育系(教)	080K6802	40	23	A
コア	教育メディア論Ⅱ	2	講義	南部 昌敏	非常勤講師	080K6803	40	23	A
コア	表象文化基礎論B	2	講義	逸見 竜生	自然科学系(人)	080H3077	10,29	03	A
コア	メディア社会文化基礎論B	2	講義	古賀 豊	人社・教育系(人)	080H3073	10	03	B
コア	情報社会論	2	講義	竹内 照雄	自然科学系(理)	080S1010	10	03	B
コア	情報産業論	2	講義	石田 雅義	非常勤講師	080S1044	10	04	B
コア	マーケティング論Ⅰ	2	講義	長尾 雅信	人社・教育系(MOT)	080E3203	37	04	B
コア	メディア表現行為論Ⅴ	2	講義	未定	非常勤講師	080Q0052	10	04	C
コア	デジタル表現論	2	講義	田中 環	自然科学系(院自然)	080S1017	10	04	C
コア	コンピュータセキュリティ入門	2	講義	青山茂義・渡邊正敬	総合情報処理センター	080G3517	10	03	C
コア	コンピュータネットワーク概論	2	講義	佐藤亮一・三河賢治	人社・教育系(教)・総合情報処理センター	080G3516	10	03	C
関連	情報論A	2	講義	古賀 豊	人社・教育系(人)	080H3160	10	04	A
関連	マス・メディア論	2	講義	吉田 和比古	人社・教育系(法)	080G7545	35	03	A
関連	メディア社会文化論A	2	講義	北村 順生	人社・教育系(人)	080H3162	10	04	A
関連	コンピュータへの招待	2	講義	仙石 正和・他	自然科学系(工)	080G6038	10	03	A
関連	シアター	2	講義	斎藤 陽一	人社・教育系(人)	080G3738	75	04	A
関連	基礎情報論	2	講義	中村 隆志	人社・教育系(人)	080G7033	10	03	A
関連	応用情報論	2	講義	大江 宏子	非常勤講師	080G7503	10	04	A
関連	人文社会情報論	2	講義	原田 健一	人社・教育系(人)	080G7516	10	04	A
関連	身体運動文化論	2	講義	篠田 邦彦	人社・教育系(教)	080K7725	14	04	A
関連	マスメディアと音楽	2	講義	小川 博司	非常勤講師	080K8502	13	04	A
関連	社会学B	2	講義	杉原 名穂子	人社・教育系(人)	080H3098	38	14	A
関連	新聞を通してみた社会	2	講義	本間 正一郎	非常勤講師	080G3219	75	03	B
関連	知的財産法	2	講義	渡邊 修	人社・教育系(院実法)	080L1015	34	04	B
関連	法情報学	2	講義	鈴木 正朝	人社・教育系(院実法)	080L1062	34	04	B
関連	GISリテラシー入門	2	講義	阿波村 稔・他	国際センター	080G3203	75	03	B
関連	科学・技術と社会	2	講義	竹内 照雄・他	自然科学系(理)	080G6001	16	03	B
関連	科学技術者の倫理	2	講義	丸山 武男	非常勤講師	080G6046	16	03	B
関連	映像文化論A	2	講義	石田 美紀	人社・教育系(人)	080H3172	10,28	04	B
関連	情報社会と倫理	2	講義	鎌田 一雄	非常勤講師	080T2071	10,28	04	B
関連	特殊講義(メディアと政治)	2	講義	谷 喬夫	人社・教育系(院実法)	080L0109	35	03	B
関連	ジェンダーと文化	2	講義	杉原 名穂子・他	人社・教育系(人)	080G7527	29	03	B
関連	メディア表現行為論Ⅵ	2	実習	宮田 雅子	非常勤講師	080Q0053	10	04	C
関連	新聞を体験する-新潟日報との連携授業-	2	演習	北村 順生・他	人社・教育系(人)	080G3737	75	03	C
関連	UNIXリテラシー演習	2	演習	濱元 信州	総合情報処理センター	080G3519	10	03	C
関連	新潟学-地域編-	2	演習	池田 哲夫・他	人社・教育系(人)	080G3213	75	03	C
関連	新潟学-ファシリテーター編-	4	演習	加藤 かおり・他	大学教育開発研究センター	080G3710	75	03	C
関連	ミュージアム論	2	講義	池田 哲夫・他	人社・教育系(人)	080H3124	16	04	C
関連	異文化コミュニケーションA	2	演習	柴田 幹夫	国際センター	080G3218	75	03	C
関連	異文化コミュニケーションB	2	演習	池田英喜・足立祐子	国際センター	080G3235	75	03	C
関連	留学生と学ぶ日本の企業文化	2	演習	阿波村 稔	国際センター	080G3220	75	03	C
関連	芸術ソフト開発	2	演習	佐藤 哲夫・他	人社・教育系(教)	080K8206	13	14	C
関連	文学とコミュニティ	2	講義	堀 竜一	人社・教育系(教)	080K8207	29	04	C
関連	新聞活用教育(NIE)演習	2	演習	堀 竜一・他	人社・教育系(教)	080K0439	40	12	C
関連	コンピュータ音楽Ⅰ	2	演習	清水 研作	人社・教育系(教)	080K6234	13	12	C
関連	コンピュータ音楽Ⅱ	2	演習	清水 研作	人社・教育系(教)	080K6235	13	12	C
関連	デザイン論	2	講義	橋本 学	人社・教育系(教)	080K8606	13	04	C
関連	デジタル表現実習	1	実習	田中 環	自然科学系(院自然)	080S1018	10	13	C
関連	生活空間デザイン論	2	講義	橋本 学	人社・教育系(教)	080K8704	13	04	C

備考：Rは「必修科目」、Aは「理論・解釈」、Bは「社会・制度」、Cは「参加・実践」を表す。

平成20年度 課題別副専攻

■テーマの名称「MOT 基礎(特許・経営及び製品開発基礎コース)」

副専攻の概要 組織経営と技術開発の両分野は、現代の日進月歩の企業社会において、大変重要な中枢部分を形成しており、両分野とも互いの基礎知識を有する人材確保を必要条件としている。そのような状況を背景として、本カリキュラムは、経済・法・理・工・農などの各分野で開設されている科目と新しく開設する科目とを活用することで、技術経営の基礎を修得できることを目的とした副専攻である。

副専攻のねらい

- ・特許取得に関わる手続きや方法を学ぶことで、特許取得に必要な専門知識が多様であることを理解する。
- ・各自の主専攻も他学部・他学科の開講科目の多くと密接に関連していることを理解する。
- ・特許やその申請に対して理解を深めることで、特許の必要性・重要性を習得する。

副専攻の到達目標

1. 法律・技術・経営の知識を融合し、それぞれを有機的に活用することで、理系・文系の両面からの思考ができる。
2. ビジネス分野への貢献ができるようになる。
3. 将来の「MOT」関係の修得の基礎が身に付く。

副専攻委員会委員 ○今泉 洋
・永山 庸男
・佐藤 孝

認定条件及び評価の方法

【各テーマ共通の認定条件】

- ・本副専攻プログラムが定めた授業科目から24単位以上を修得していること。
- ・卒業時の総修得単位数が、所属する学部の卒業要件単位数に12単位以上を加えたものであること。
- ・卒業時のGPAが2.5以上であること。
- ・当該学生が所属する主専攻課程(学科)に関わる科目のうち、副専攻科目として認定する単位は最大6単位とする。

【各テーマ独自の認定条件等】

- ・コア科目から必修科目を含む12単位以上の単位取得が必要である。
- ・コア科目は、R科目1単位、A科目群(必修2単位を含む)およびB科目群それぞれ4単位以上の単位取得が必要である。
- ・コア科目と関連科目(C科目)を合わせて、所属学部開講科目以外の科目を10単位以上取得する必要がある。
- ・R科目「特許・経営および製品開発入門」を最初に履修することが望ましい。
- ・履修条件欄*1~*6は以下の履修順序の指定があることを示す。

*1 民法法基礎ⅠおよびⅡを修得済みであること。 *2 民法法基礎Ⅰ、ⅡおよびⅢを修得済みであること。
*3 経営戦略論Ⅰを修得済みであること。 *4 マーケティング論Ⅰを修得済みであること。
*5 国際企業論Ⅰを修得済みであること。 *6 ファイナンスⅠを修得済みであること。

分類	授業科目名	単位	形式	授業担当者	所属	講義番号	分野	水準	備考
コア	特許・経営および製品開発入門	1	演習	今泉 洋・他	自然科学系(工)	080Q9007	99	03	R
コア	特許と技術経営Ⅰ	1	演習	吉井 雅栄	非常勤講師	080Q0008	99	04	A(必修)
コア	特許と技術経営Ⅱ	1	演習	屋代 順治郎	非常勤講師	080Q0009	99	04	A(必修)
コア	民法法基礎Ⅰ	2	講義	石畝 剛士	人社・教育系(法)	080L1001	34	03	A
コア	民法法基礎Ⅱ	2	講義	石畝 剛士	人社・教育系(法)	080L1002	34	03	A
コア	民法法基礎Ⅲ	2	講義	神戸 秀彦	人社・教育系(院実法)	080L1003	34	03	A*1
コア	経営戦略論Ⅰ(技術経営論Ⅰ)	2	講義	高山 誠	人社・教育系(院技経)	080E3103	37	04	A
コア	マーケティング論Ⅰ	2	講義	長尾 雅信	人社・教育系(院技経)	080E3203	37	04	A
コア	国際企業論Ⅰ(国際企業論)	2	講義	永山 庸男	人社・教育系(院技経)	080E3328	37	04	A
コア	ファイナンスⅠ	2	講義	齋藤 達弘	人社・教育系(院技経)	080E3201	37	04	A
コア	情報管理学	2	講義	蛭川 潤一	自然科学系(理)	080S1038	10	04	B
コア	情報統計学	2	講義	蛭川 潤一	自然科学系(理)	080S1039	41	04	B
コア	情報計画システムⅠ	2	講義	山田 修司	自然科学系(院自然)	080S1042	10	05	B
コア	情報計画システムⅡ	2	講義	山田 修司	自然科学系(院自然)	080S1043	10	05	B
コア	エレクトロニクスへの招待	2	講義	小椋 一夫	自然科学系(工)	080G6042	51	03	B
コア	コンピュータへの招待	2	講義	仙石 正和	自然科学系(工)	080G6038	10	03	B
コア	高福祉社会を支える「生活支援工学」入門	2	講義	林 豊彦	自然科学系(工)	080G6039	56	03	B
コア	生活を支える化学技術-化学工学への招待-	2	講義	伊東 章	自然科学系(工)	080G6041	47	03	B
コア	くらしと環境	2	講義	泉宮 尊司	自然科学系(工)	080G6044	53	03	B
コア	農業経営戦略論	2	講義	平泉 光一	自然科学系(農)	080A1137	64	05	B
コア	生命と環境の化学Ⅰ	2	講義	大山 卓爾	自然科学系(農)	080G6045	46	03	B
コア	生命と環境の化学Ⅱ	2	講義	星野 力	自然科学系(農)	080G6540	46	03	B
コア	くらしと微生物	2	講義	堀 秀隆	自然科学系(院自然)	080G6542	61	03	B
関連	知的財産法Ⅰ	2	講義	渡邊 修	人社・教育系(院実法)	080L0015	34	04	C*2
関連	企業法Ⅰ	2	講義	山田 剛志	人社・教育系(法)	080L1005	34	04	C*2
関連	企業法Ⅱ	2	講義	未定	人社・教育系(法)	080L1006	34	04	C*2
関連	独占禁止法	2	講義	澤田 克己	人社・教育系(院実法)	080L1003	34	04	C*2
関連	経営戦略論Ⅱ(技術経営論Ⅱ)	2	講義	高山 誠	人社・教育系(院技経)	080E3210	37	04	C*3
関連	マーケティング論Ⅱ	2	講義	長尾 雅信	人社・教育系(院技経)	080E3204	37	04	C*4
関連	国際企業論Ⅱ(国際マーケティング論)	2	講義	永山 庸男	人社・教育系(院技経)	080E3329	37	04	C*5
関連	ファイナンスⅡ	2	講義	齋藤 達弘	人社・教育系(院技経)	080E3202	37	04	C*6
関連	情報社会論	2	講義	竹内 照雄	自然科学系(理)	080S1010	10	03	C
関連	計算機概論	2	講義	竹内 照雄	自然科学系(理)	080S1008	10	03	C
関連	プログラミング概論	2	講義	竹内 照雄	自然科学系(理)	080S1011	10	03	C
関連	計算システム	2	講義	山田 修司	自然科学系(院自然)	080S1013	10	04	C
関連	デジタル表現論	2	講義	田中 環	自然科学系(院自然)	080S1017	10	04	C
関連	情報産業論	2	講義	石田 雅栄	非常勤講師	080S1044	10	04	C
関連	工業力学	2	講義	岩部 洋育	自然科学系(工)	080T1038	49,43	04	C
関連	材料力学Ⅰ	2	講義	原 利昭	自然科学系(工)	080T1009	50	04	C
関連	材料力学Ⅱ	2	講義	田邊 裕治	自然科学系(工)	080T1010	50	04	C
関連	機構学	2	講義	大矢 誠	自然科学系(工)	080T1037	50	04	C
関連	電気回路Ⅰ	2	講義	渡邊 弘道	自然科学系(工)	080T2033	51	04	C
関連	電気回路Ⅱ	2	講義	菅原 晃	自然科学系(工)	080T2034	51	04	C
関連	電気回路Ⅲ	2	講義	渡邊 弘道	自然科学系(工)	080T2035	51	04	C
関連	電気回路Ⅳ	2	講義	新保 一成	自然科学系(工)	080T2036	51	04	C
関連	電磁気学Ⅰ	2	講義	清水 英彦・他	自然科学系(工)	080T2042	51	04	C
関連	電磁気学Ⅱ	2	講義	小川 純・他	自然科学系(院自然)	080T2043	51	04	C
関連	電子回路	2	講義	牧野 秀夫	自然科学系(工)	080T3064	51	04	C
関連	論理回路	2	講義	中野 敬介	自然科学系(工)	080T2050	51	04	C
関連	電気回路Ⅰ	2	講義	前田 義信	自然科学系(工)	080T4036	51	24	C
関連	化学プロセス概論	2	講義	山際 和明	自然科学系(院自然)	080T5048	55	04	C
関連	分析化学	2	講義	今泉 洋	自然科学系(工)	080T5051	47	04	C
関連	基礎有機化学	2	講義	萩原 久大	自然科学系(院自然)	080T5005	47	03	C
関連	基礎無機化学	2	講義	佐藤 峰夫	自然科学系(工)	080T5006	47	03	C
関連	日本建築史	2	講義	黒野 弘靖	自然科学系(工)	080T6040	53	03	C
関連	水と食の環境論	2	講義	三沢 眞一・他	自然科学系(農)	080A3005	65	03	C
関連	保全生態学	2	講義	箕口 秀夫	自然科学系(農)	080A3301	57	03	C
関連	森林土木学	2	講義	川邊 洋・他	自然科学系(農)	080A3203	62	03	C
関連	電気回路基礎論	2	講義	坪井 望	自然科学系(工)	080T7009	54	04	C
関連	基礎高分子化学	2	講義	山内 健	自然科学系(院自然)	080T7013	54	04	C
関連	基礎生物化学	2	講義	谷口 正之	自然科学系(工)	080T7014	54	04	C

備考：Rは「必修科目」、Aは「文系科目として必要な科目群」、Bは「理系科目として必要な科目群」、Cは「ABと関連した発展科目群」を表す。

平成20年度 課題別副専攻

■テーマの名称「芸術学」

副専攻の概要	芸術は時代ごとの価値観を表出し、人文系諸科学の背景ともなっている。また私たちの生活を潤し、内面を豊かにしてくれる精神生活の精華でもある。この副専攻では、文学部・教育人間科学部・農学部・工学部などの人的資源を活用することによって、感性による鑑賞の対象としてだけでなく、学問の対象として芸術を捉え直すことを通し、精神文化・造形文化の成り立ちを明らかにしつつ、人生をより豊かにするプログラムを提供する。	
副専攻のねらい	様々な授業を通して、芸術一般に関する知識を得、また感性を育て、芸術が人間の生活にとってどのような価値を持っているかを認識できるようにする。また、そうして養った感性と知識によって、芸術作品に接した時に、その作品の客観的な価値づけを、自分の言葉で表現できることを目指す。	
副専攻の到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 芸術史について広く基本的な見識を有し、また芸術学の基礎理論に通じるようになること。 2. また、それを通して、芸術作品一般に対して一定の客観性を持った見解を述べられるようになること。 3. 特定の芸術分野に関して、専門家に準ずる知識を有し、その分野の作品について独自の見解を発表できるようになること。 	副専攻委員会委員 ○萩 美津夫 ・武田 光一 ・広部 俊也
認定条件及び評価の方法	<p>【各テーマ共通の認定条件】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本副専攻プログラムが定めた授業科目から24単位以上を修得していること。 ・卒業時の総修得単位数が、所属する学部卒業要件単位数に12単位以上を加えたものであること。 ・卒業時のGPAが2.5以上であること。 ・当該学生が所属する主専攻課程(学科)に関わる科目のうち、副専攻科目として認定する単位は最大6単位とする。 <p>【各テーマ独自の認定条件等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コア科目から必修科目を含む12単位以上の単位取得が必要である。 ・「芸術学実習」は、すでに「本副専攻プログラムが定めた授業科目」から20単位以上を修得している者のみ履修可能である。 ・到達度を最終的に測るため、「芸術学実習」の履修時にレポート提出、あるいは作品の発表を課す。 ・コア科目のうち、A、B、Cに区分された科目から、それぞれ少なくとも1科目は修得するものとする。 ・原則として、教育人間科学部芸術環境創造課程の学生については、本コースカリキュラムによる副専攻認定は行わない。 	

分類	授業科目名	単位	形式	授業担当者	所属	講義番号	分野	水準	備考
コア	芸術学入門	1	演習	廣部 俊也	人社・教育系(人)	080Q9010	13	03	R
コア	美術史概説A	2	講義	高晟竣	非常勤講師	080H3053	28	03	A
コア	美術史概説I	2	講義	高晟竣	"	080H1053	28	03	A
コア	東洋美術史A I	2	講義	武田 光一	人社・教育系(教)	080G7045	13	03	A
コア	東洋美術史A II	2	講義	武田 光一	人社・教育系(教)	080G7531	13	03	A
コア	日本・東洋美術史	2	講義	武田 光一	人社・教育系(教)	080K1809	13	04	A
コア	西洋美術史	2	講義	近藤 フヂエ	人社・教育系(教)	080K1810	13	04	A
コア	芸術と概念	2	講義	横坂 康彦	人社・教育系(教)	080K8102	13	11	A
コア	美術批評論	2	講義	近藤 フヂエ	人社・教育系(教)	080K8707	13	12	A
コア	芸術文化論	2	講義	田中 幸治	人社・教育系(教)	080K8101	13	11	B
コア	比較芸術学	2	講義	武田 光一	人社・教育系(教)	080K9001	13	04	B
コア	比較造形論	2	講義	武田 光一	人社・教育系(教)	080K8612	13	04	B
コア	日本芸能文化論B	2	講義	萩 美津夫	人社・教育系(人)	080H3120	31	14	B
コア	絵画入門	2	講義	山本 真也	人社・教育系(教)	080G7541	13	04	B
コア	絵画	2	演習	近藤 充	非常勤講師	080T6077	53	13	B
コア	日本古典文学F	2	講義	錦 仁	人社・教育系(院現社)	080G7514	29	03	B
コア	日本古典文学L	2	講義	石坂 妙子	人社・教育系(教)	080G7540	29	03	B
コア	現代文化論A	2	講義	逸見 龍生	人社・教育系(人)	080H3164	10,29	04	B
コア	現代文化論B	2	講義	福沢 榮司	人社・教育系(人)	080H3165	10,29	04	B
コア	映像文化論A	2	講義	石田 美紀	人社・教育系(人)	080H3172	10,28	04	C
コア	都市・地域設計論II	2	講義	樋口 忠彦	非常勤講師	080T6049	53	04	C
コア	都市・地域設計論I	2	講義	岡崎 篤行	自然科学系(工)	080T6048	53	04	C
コア	デザイン論	2	講義	橋本 学	人社・教育系(教)	080K8606	13	03	C
コア	インテリアデザイン	2	講義	五十嵐 由利子	人社・教育系(教)	080K7526	15	05	C
コア	書鑑賞論	2	演習	角田 勝久	人社・教育系(教)	080K9004	13	04	C
コア	芸術学実習	1	演習	廣部 俊也	人社・教育系(人)	080Q0011	13	04	R
関連	書道芸術A	2	講義	鶴田 一雄	人社・教育系(教)	080G7045	13	03	
関連	書道講義及び実習I	2	講義	角田 勝久	人社・教育系(教)	080K5445	30	13	
関連	住環境科学I	2	講義	五十嵐 由利子	人社・教育系(教)	080K7204	15	04	
関連	被服環境学	2	講義	杉村 桃子	人社・教育系(教)	070K7202	15	04	
関連	考える草の冒険	2	講義	井山 弘幸	人社・教育系(人)	080G3718	75	03	
関連	シアター	2	講義	齋藤 陽一	人社・教育系(人)	080G3738	75	04	
関連	日本文化論演習B	2	講義	廣部 俊也	人社・教育系(人)	080G7513	29	03	
関連	文学A	2	講義	先田 進	人社・教育系(人)	080G7007	29	03	
関連	文学B	2	講義	先田 進	人社・教育系(人)	080G7507	30	04	
関連	文学D	2	講義	番場 俊	人社・教育系(人)	080G7508	29	03	
関連	西洋文学L I	2	講義	三浦 淳	人社・教育系(人)	080G7004	29	03	
関連	西洋文学L II	2	講義	三浦 淳	人社・教育系(人)	080G7512	29	03	
関連	西洋文学M	2	講義	村上 吉男	人社・教育系(人)	080G7005	29	03	
関連	能楽の世界-歴史と文学-	2	講義	萩 美津夫	人社・教育系(人)	080G7003	29	03	
関連	日本文化論	2	講義	岡村 浩	人社・教育系(教)	080G7044	13	03	
関連	生活空間デザイン論	2	講義	橋本 学	人社・教育系(教)	080K8704	13	04	
関連	詩作演習	2	講義	先田 進	人社・教育系(人)	080G7006	29	03	
関連	日本近代文学D	2	講義	堀 竜一	人社・教育系(教)	080G7050	29	03	
関連	文芸批評論I	2	講義	先田 進	人社・教育系(人)	080G7037	29	04	
関連	音楽D	2	講義	松本 彰	人社・教育系(人)	080G7026	13	03	
関連	音楽E	2	講義	田中 幸治	人社・教育系(教)	080G7046	13	03	
関連	音楽F	2	講義	鈴木 賢太	人社・教育系(教)	080G7532	13	03	
関連	表象文化論A	2	講義	佐々木 充	人社・教育系(人)	080H3166	10,28	04	
関連	表象文化論B	2	講義	番場 俊	人社・教育系(人)	080H3167	10,29	04	
関連	多文化音楽論I	2	講義	萩 美津夫	人社・教育系(人)	080K6213	13	04	
関連	多文化音楽論II	2	講義	萩 美津夫	人社・教育系(人)	080K8306	13	04	
関連	日本建築史	2	講義	黒野 弘晴	自然科学系(工)	080T6040	53	03	
関連	都市計画学I	2	講義	岡崎 篤行	自然科学系(工)	080T6046	53	03	
関連	都市計画学II	2	講義	岡崎 篤行	自然科学系(工)	080T6047	53	04	

備考：Aは「理論・歴史に関する基礎科目」、Bは「芸術の主要各分野に関する科目」、Cは「その他の分野に関する基礎科目」、空欄科目は「発展的・実践的科目」を表す。

平成20年度 課題別副専攻

■テーマの名称「文化財学」

副専攻の概要 近年、文化財・文化遺産については、人文科学系の知識のほかに、その分析・保存・活用に自然科学系の知識が要求されている。また、保存においては法的整備も望まれている。ここでは、文化財学の初歩から応用にわたって構成されている人文系学部開設科目と自然科学学部開設科目を活用し、文理融合による学際的な文化財科学の理解と知識を高めるプログラムを提供する。

副専攻のねらい 文化財保存・保護に関する基礎的事項を理解し、博物館学芸員などの文化財に関わる専門職として必要な基本的かつ専門的知識・技術を習得する。

副専攻の到達目標

1. 文化財についての総合的な理解を図り、その保存・活用の方策を考えることができる。
2. 博物館学芸員として必要な基本的かつ専門的知識・技能をふまえて、文化財の保存・活用に關わる作業をすることができる。
3. 博物館の意義・業務に関して基本的な説明をすることができる。
4. 文化財保護全般に対して基本的な説明をすることができる。
5. 世界文化遺産についての基本的な説明をすることができる。

副専攻委員会委員 ○橋本 博文
・池田 哲夫
・飯島 康夫
・菊地 真

認定条件及び評価の方法

【各テーマ共通の認定条件】

- ・本副専攻プログラムが定めた授業科目から24単位以上を修得していること。
- ・卒業時の総修得単位数が、所属する学部の卒業要件単位数に12単位以上を加えたものであること。
- ・卒業時のGPAが2.5以上であること。
- ・当該学生が所属する主専攻課程（学科）に関わる科目のうち、副専攻科目として認定する単位は最大6単位とする。

【各テーマ独自の認定条件等】

- ・コア科目から必修科目を含む12単位以上の単位取得が必要である。
- ・科目、関連科目のうち、A、Bに区分された科目から、それぞれ少なくとも1科目は修得するものとする。
- ・認定申請時に、所定のレポートを提出して合格すること。

分類	授業科目名	単位	形式	授業担当者	所属	講義番号	分野	水準	備考
コア	文化財学入門	1	演習	橋本 博文	人社・教育系(人)	080Q9012	16	03	R
コア	博物館概論	2	講義	池田 哲夫	人社・教育系(人)	080H3052	16	03	A
コア	博物館経営・情報論	2	講義	飯島 康夫	人社・教育系(人)	080H3121	16	04	A
コア	博物館資料論	2	講義	池田 哲夫	人社・教育系(人)	080H3122	16	04	A
コア	考古学概説A	2	講義	橋本 博文	人社・教育系(人)	080H3047	31	03	A
コア	考古学概説B	2	講義	菊地 真	人社・教育系(人)	080H3048	31	03	A
コア	考古学特殊研究A	2	講義	菊地 真	人社・教育系(人)	080H3115	31	14	A
コア	考古学特殊研究C	2	講義	橋本 博文	人社・教育系(人)	080H3116	31	14	A
コア	民俗学概説A	2	講義	飯島 康夫	人社・教育系(人)	080H3051	33	03	A
コア	民俗学特殊研究B	2	講義	池田 哲夫	人社・教育系(人)	080H3118	33	14	A
コア	民俗学特殊研究C	2	講義	福田 アジオ	非常勤講師	080H3119	33	14	A
コア	東洋美術史AⅠ	2	講義	武田 光一	人社・教育系(教)	080G7045	13	03	A
コア	東洋美術史AⅡ	2	講義	武田 光一	人社・教育系(教)	080G7531	13	03	A
コア	伝統文化保存論	2	講義	石坂 妙子	人社・教育系(教)	080K8209	29	04	A
コア	古文書学概説A	2	講義	矢田 俊文	人社・教育系(人)	080H3045	31	03	A
コア	地域社会文化演習	2	演習	橋本 博文	人社・教育系(人)	080H3326	31,32,33	14	A
コア	書道芸術A	2	講義	鶴田 雄	人社・教育系(教)	080G7049	13	03	A
コア	ミュージアム論	2	講義	池田 哲夫	人社・教育系(人)	080H3124	16	04	A
コア	文化財保存科学	2	実習	鈴木稔・三ツ井朋子	非常勤講師	080Q0013	16	04	R
コア	文化財保護論	2	講義	十菱 駿武	非常勤講師	080Q0014	16	04	R
コア	史跡整備	2	講義	飛田 範夫	非常勤講師	080Q0015	16	04	R
コア	日本建築史	2	講義	黒野 弘靖	自然科学系(工)	080T6040	53	03	B
コア	都市・地域設計論Ⅰ	2	講義	岡崎 篤行	自然科学系(工)	080T6048	53	04	B
関連	環境地質学A	2	講義	卜部 厚志・他	災害復興科学センター	080S5038	44	04	B
関連	文化財と歴史から見た新潟地域	2	講義	原 直史・他	人社・教育系(院現社)	080G3709	75	01	A
関連	新潟学-地域編-	2	講義	池田 哲夫	人社・教育系(人)	080G3213	75	03	A
関連	日本古典文献実習A	1	実習	鈴木 孝庸	人社・教育系(人)	080H3190	29	13	A
関連	日本古典文献実習B	1	実習	廣部 俊也	人社・教育系(人)	080H3191	29	13	A
関連	地学E(地球理解の諸相)	2	講義	栗田 裕司	自然科学系(理)	080G6527	44	03	B
関連	西洋美術の伝統と現代	2	講義	近藤 フヂエ	人社・教育系(教)	080K8608	13	04	A
関連	日本・東洋美術の展開	2	講義	武田 光一	人社・教育系(教)	080K8607	13	04	A
関連	能楽の世界-歴史と文学-	2	講義	荻 美津夫	人社・教育系(人)	080G7003	29	03	A
関連	都市計画学Ⅰ	2	講義	岡崎 篤行	自然科学系(工)	080T6046	53	03	B
関連	都市計画学Ⅱ	2	講義	岡崎 篤行	自然科学系(工)	080T6047	53	04	B
関連	新潟の地質・災害をさぐる	2	講義	卜部 厚志	災害復興科学センター	080G3701	75	03	B

備考：Rは「必修科目」、Aは「人文科学系科目」、Bは「自然科学系科目」を表す。

平成20年度 課題別副専攻

■テーマの名称「外国語（ドイツ語）」

副専攻の概要 ドイツ語の高度な実践的運用能力を涵養する。EU域内の有力言語であるドイツ語に習熟することで、グローバル化する世界に複眼的な情報処理能力をもって対応できるようにする。

副専攻のねらい ドイツ語の修得に当たっては、言語能力の向上のみを自己目的とするのではなく、併せてドイツの政治、経済、社会、文化など様々な分野への知見を深める。

副専攻の到達目標 標準的なドイツ語を使いこなせ、ドイツ語圏の国々における日常生活に対応できること。専門書、新聞など辞書を用いて活用できること。（ドイツ語技能検定試験2級レベル）

副専攻委員会委員 ○金子 一郎
・福澤 榮司
・木村 豊

認定条件及び評価の方法

【各テーマ共通の認定条件】

- ・本副専攻プログラムが定めた授業科目から24単位以上を修得していること。
- ・卒業時の総修得単位数が、所属する学部卒業要件単位数に12単位以上を加えたものであること。
- ・卒業時のGPAが2.5以上であること。
- ・当該学生が所属する主専攻課程（学科）に関わる科目のうち、副専攻科目として認定する単位は最大6単位とする。

【各テーマ独自の認定条件等】

- ・コア科目から必修科目を含む16単位以上の単位取得が必要である。
- ・備考欄A群（中級レベル）の科目から6単位以上、B群（上級レベル）の科目から4単位以上の取得が必要である。

※海外研修については、当該教育施設及び教育課程を審査の上、単位を認めることがある。

分類	授業科目名	単位	形式	授業担当者	所属	講義番号	分野	水準	備考
コア	ドイツ学研究法	1	演習	小林リリ子・金子一郎	非常勤講師	080Q9017	71	03	R
コア	時事ドイツ語	1	演習	木村 豊	人社・教育系(人)	080Q0018	71	03	B
コア	外国語ベーシック（独・仏・露）	2	講義	金子 一郎・他	人社・教育系(人)		71	03	
コア	外国語ベーシック（独・西・伊）	2	講義	皆川 泰雄・他	人社・教育系(人)		71	03	
コア	外国語ベーシック（独・仏・アラビア）	2	講義	木村 豊・他	人社・教育系(法)		71	03	
コア	ドイツ語ベーシックⅡ	3	演習	畑 志津子・他	非常勤講師		71	03	
コア	ドイツ語スタンダードⅠ／Ⅱ	3	演習	福澤 榮司・他	人社・教育系(人)		71	03	
コア	ドイツ語インテンシブⅠ／Ⅱ	4	演習	桑原 聡・他	人社・教育系(人)		71	03	
コア	コミュニケーション・ドイツ語A	2	演習	金子 一郎	人社・教育系(人)	080G1031	71	03	A
コア	コミュニケーション・ドイツ語B	2	演習	A. ホップ	大学教育開発研究センター	080G1032	71	03	A
コア	コミュニケーション・ドイツ語C	2	演習	A. ホップ	大学教育開発研究センター	080G1033	71	03	A
コア	コミュニケーション・ドイツ語E	2	演習	金子 一郎	人社・教育系(人)	080G1525	71	03	A
コア	コミュニケーション・ドイツ語F	2	演習	A. ホップ	大学教育開発研究センター	080G1526	71	03	A
コア	コミュニケーション・ドイツ語G	2	演習	A. ホップ	大学教育開発研究センター	080G1527	71	03	A
コア	ドイツ語セミナーA	2	演習	桑原 聡	人社・教育系(人)	080G1034	71	04	B
コア	ドイツ語セミナーB	2	演習	桑原 聡	人社・教育系(人)	080G1528	71	04	B
コア	ヨーロッパ言語概説A	2	講義	前原 真吾	全学教育機構	080H3417	30	03	
コア	ヨーロッパ文化論A	2	講義	A. ホップ	大学教育開発研究センター	080H3148	29	04	B
コア	ヨーロッパ文化論B	2	講義	A. ホップ	大学教育開発研究センター	080H3149	29	04	B
コア	海外研修	※	実習			080Q0020	71	04	B
関連	哲学特殊研究B	2	講義	深澤 助雄	人社・教育系(人)	080H3081	28	04	
関連	哲学特殊研究A	2	講義	城戸 淳	人社・教育系(人)	080H3080	28	04	
関連	ヨーロッパ文化入門A	2	講義	金子 一郎	人社・教育系(人)	080H3014	29	03	
関連	ヨーロッパ文芸論A	2	講義	木村 豊	人社・教育系(人)	080H3143	29	04	
関連	現代文化論B	2	講義	福澤 榮司	人社・教育系(人)	080H3165	10,29	04	
関連	マス・メディア論	2	講義	吉田 和比古	人社・教育系(法)	080L1054	35,38	03	
関連	西欧政治史Ⅰ	2	講義	宮内 俊至	人社・教育系(法)	080L1049	35	03	
関連	西洋文化史特殊研究	2	講義	松本 彰	人社・教育系(人)	080H3155	31	14	
関連	西洋地域史特殊研究A	2	講義	森田 直子	人社・教育系(人)	080H3158	31	14	
関連	西洋社会史特殊研究A	2	講義	細田 あや子	人社・教育系(人)	080H3156	31	14	
関連	音楽実践指導論B	2	講義	松浦 良治	人社・教育系(教)	080K8415	13	14	
関連	音楽実践指導論A	2	講義	松浦 良治	人社・教育系(教)	080K8414	13	14	
関連	音楽楽曲研究B	2	講義	松浦 良治	人社・教育系(教)	080K8522	13	14	
関連	音楽楽曲研究A	2	講義	松浦 良治	人社・教育系(教)	080K8522	13	14	
関連	集団音楽活動論A	2	講義	松浦 良治	人社・教育系(教)	080K8418	13	14	
関連	集団音楽活動論B	2	講義	松浦 良治	人社・教育系(教)	080K8419	13	14	
関連	ヨーロッパ事情A	2	講義	金子 一郎	人社・教育系(人)	080H3154	29	04	
関連	人間学基礎演習B	2	演習	城戸 淳	人社・教育系(人)	080H3235	28,30	13	
関連	人間学演習	2	演習	栗原 隆	人社・教育系(人)	080H3278	28,30	14	
関連	人間学演習	2	演習	栗原 隆	人社・教育系(人)	080H3279	28,30	14	
関連	人間学演習	2	演習	城戸 淳	人社・教育系(人)	080H3282	28,30	14	
関連	人間学演習	2	演習	城戸 淳	人社・教育系(人)	080H3283	28,30	14	
関連	法政演習（西欧政治研究Ⅰ2008Ⅰ）	2	演習	宮内 俊至	人社・教育系(法)	080L0232	35	14	
関連	法政演習（西欧政治研究Ⅰ2008Ⅱ）	2	演習	宮内 俊至	人社・教育系(法)	080L0233	35	14	
関連	ヨーロッパ文化基礎演習A	2	演習	木村 豊	人社・教育系(人)	080H3254	29,30	13	
関連	ヨーロッパ文化基礎演習B	2	演習	木村 豊	人社・教育系(人)	080H3255	29,30	13	
関連	ヨーロッパ文化研究法A	2	演習	前原 真吾	全学教育機構	080H3477	29	13	
関連	西洋歴史文化基礎演習A	2	演習	松本 彰	人社・教育系(人)	080H3260	31	13	
関連	西洋歴史文化基礎演習B	2	演習	松本 彰	人社・教育系(人)	080H3261	31	13	
関連	西洋歴史文化演習	2	演習	高橋 秀樹	人社・教育系(人)	080H3383	31	14	
関連	西洋歴史文化演習	2	演習	高橋 秀樹	人社・教育系(人)	080H3384	31	14	
関連	文化コミュニケーション基礎論B	2	演習	福沢 榮司	人社・教育系(人)	080H3075	10,29	13	
関連	ドイツ文化演習	2	演習	木村 豊	人社・教育系(人)	080H3372	29	14	
関連	ドイツ文化演習	2	演習	桑原 聡	人社・教育系(人)	080H3373	29	14	
関連	ドイツ文化演習	2	演習	金子 一郎	人社・教育系(人)	080H3374	29	14	

※海外研修については、当該教育施設及び教育課程を審査の上、単位を認めることがある。
備考：Rは「必修科目」、Aは「中級レベル科目」、Bは「上級レベル科目」を表す。

平成20年度 課題別副専攻

■テーマの名称「外国語（英語）」

副専攻の概要 大学4年間のうちに、各学部やコースにおいて使用されている多様な英語を学習することによって、社会の様々な分野で要求される英語の実践的能力を養う。

副専攻のねらい このコースでは、多様なジャンルの英語を読み、聞き、話し、書くことができる英語の実践的能力を育成することをねらいとする。

副専攻の到達目標

- ・ 通常会話をほぼ完全に理解でき、応答できる。
- ・ 辞書をほとんど用いずに読むことができる。
- ・ 文法的に正確な文章を書くことができる。(TOEICテストの750点相当の能力)

副専攻委員会委員 ○辻 照彦
・ 佐々木 充
・ 高橋 康浩
・ 松沢 伸二

認定条件及び評価の方法

【各テーマ共通の認定条件】

- ・ 本副専攻プログラムが定めた授業科目から24単位以上を修得していること。
- ・ 卒業時の総修得単位数が、所属する学部の卒業要件単位数に12単位以上を加えたものであること。
- ・ 卒業時のGPAが2.5以上であること。
- ・ 当該学生が所属する主専攻課程（学科）に関わる科目のうち、副専攻科目として認定する単位は最大6単位とする。

【各テーマ独自の認定条件等】

- ・ コア科目からR科目およびC科目を含む12単位以上の単位取得が必要である。

分類	授業科目名	単位	形式	授業担当者	所属	講義番号	分野	水準	備考
コア	英語文化研究C	1	演習	辻 照彦	人社・教育系(経)	080Q9023	70	03	R
コア	発展英語(全科目)	2	演習	I. メギール・他	大学教育開発研究センター		70	03	A★
コア	応用英語(全科目)	2	演習	B. イヨベ・他	大学教育開発研究センター		70	04	C
コア	英米文化基礎演習B	2	演習	平野 幸彦	人社・教育系(人)	080H3249	29	13	A
コア	英米文化基礎演習A	2	演習	金山 亮太	人社・教育系(人)	080H3248	29	13	A
コア	英米文化基礎演習A	2	演習	大石 強	人社・教育系(人)	080H3250	29	13	A
コア	英米文化基礎演習B	2	演習	大石 強	人社・教育系(人)	080H3251	29	13	A
コア	英米文化基礎演習B	2	演習	高橋 康浩	人社・教育系(人)	080H3253	29	13	A
コア	英米文化基礎演習A	2	演習	高橋 正平	人社・教育系(人)	080H3252	29	13	A
コア	英語アクティブA(全科目)	2	演習	S. ドルカ	非常勤講師		70	03	A
コア	英語アクティブA(全科目)	2	演習	I. メギール	大学教育開発研究センター		70	03	A
コア	英語アクティブB(全科目)	2	演習	I. ガラオン青木	非常勤講師		70	03	A
コア	英語アクティブC(全科目)	2	演習	S. ドルカ	非常勤講師		70	03	A
コア	英語アクティブC(全科目)	2	演習	I. メギール	大学教育開発研究センター		70	03	A
コア	実践英語セミナー	2	演習	F. ダービン	非常勤講師		70	03	A
コア	英語表現セミナー	2	演習	F. ダービン	非常勤講師		70	03	A
コア	英語教育と言語学研究法Ⅰ	2	講義	成田 圭市	人社・教育系(教)	080K6607	40	23	B
コア	英語教育と言語学研究法Ⅱ	2	講義	成田 圭市	人社・教育系(教)	080K6608	40	23	B
コア	米文学教材研究Ⅰ	2	講義	岡村 仁一	人社・教育系(教)	080K6621	40	23	B
コア	米文学教材研究Ⅱ	2	講義	岡村 仁一	人社・教育系(教)	080K6622	40	23	B
関連	海外研修	※	実習			080Q0020	70	04	
関連	英米文化概論A	2	講義	高橋 正平	人社・教育系(人)	080H3059	29	03	A
関連	英米文化概論B	2	講義	平野 幸彦	人社・教育系(人)	080H3060	29	03	A
関連	英米言語概論A	2	講義	秋 孝道	人社・教育系(人)	080H3061	30	03	A
関連	英米言語概論B	2	講義	秋 孝道	人社・教育系(人)	080H3062	30	03	A
関連	英米文化特殊研究A	2	講義	高橋 正平	人社・教育系(人)	080H3134	29	04	B
関連	英米文化特殊研究B	2	講義	I. メギール	大学教育開発研究センター		29	04	B
関連	英米文化論A	2	講義	金山 亮太	人社・教育系(人)	080H3136	29	04	B
関連	英米文化論B	2	講義	高橋 康浩	人社・教育系(人)	080H3137	29	04	B
関連	言語行動論A	2	講義	福田 一雄	人社・教育系(人)	080H3089	30	04	B
関連	人間学演習	2	演習	井山引幸	人社・教育系(人)	080H3276	28,30	14	B
関連	人間学演習	2	演習	井山引幸	人社・教育系(人)	080H3277	28,30	14	B
関連	文化コミュニケーション論演習	2	演習	佐々木充	人社・教育系(人)	080H3403	10,29	14	B
関連	文化コミュニケーション論演習	2	演習	佐々木充	人社・教育系(人)	080H3404	10,29	14	B
関連	外書講読Ⅱ	2	演習	恩田 公夫	人社・教育系(経)	080E0016	36,70	04	A
関連	外書講読Ⅰ	2	演習	辻 照彦	人社・教育系(経)	080E0006	36,70	04	A
関連	外書講読Ⅱ	2	演習	辻 照彦	人社・教育系(経)	080E0018	36,70	04	A
関連	外書講読Ⅰ	2	演習	大竹芳夫	人社・教育系(経)	080E0004	36	04	A
関連	国際コミュニケーション基礎演習Ⅰ(英)	2	演習	鈴木 利久	人社・教育系(経)	080E3000	70,37	13	A
関連	国際コミュニケーション基礎演習Ⅱ(英)	2	演習	鈴木 利久	人社・教育系(経)	080E3020	70,37	13	A
関連	異文化論	2	演習	辻 照彦	人社・教育系(経)	080E1518	33	04	A
関連	異文化論	2	演習	恩田 公夫	人社・教育系(経)	080E1516	33	04	A
関連	異文化論	2	演習	大竹芳夫	人社・教育系(経)	080E1517	33	04	A
関連	国際コミュニケーション講義Ⅰ(英)	2	講義	G. ハドリー	非常勤講師	080E3002	70,37	14	A
関連	国際コミュニケーション講義Ⅱ(英)	2	講義	B. イヨベ	非常勤講師	080E3003	70,37	14	A
関連	国際コミュニケーション講義Ⅲ(英)	2	講義	G. ハドリー	非常勤講師	080E3004	70,37	14	A
関連	国際コミュニケーション演習Ⅰ(英)	2	演習	鈴木 利久	人社・教育系(経)	080E3006	70,37	14	B
関連	国際コミュニケーション演習Ⅱ(英)	2	演習	鈴木 利久	人社・教育系(経)	080E3007	70,37	14	B
関連	国際コミュニケーション演習Ⅲ(英)	2	演習	G. ケント	非常勤講師	080E3008	70,37	14	B
関連	国際コミュニケーション演習Ⅳ(英)	2	演習	G. ケント	非常勤講師	080E3009	70,37	14	B
関連	国際コミュニケーション講義Ⅴ(英)	2	講義	G. ハドリー	非常勤講師	080E3018	70,37	14	B
関連	国際コミュニケーション講義Ⅵ(英)	2	講義	G. ハドリー	非常勤講師	080E3019	70,37	14	B

※海外研修については、教育施設及び教育課程を審査の上、単位を認めることがある。

★：所属学部の必須単位以外のものだけカウント

備考：Aは「発展英語」を除き、原則として第3セメスター以降に学習すべき科目、Bは第5セメスター以降に学習すべき科目を表す。

平成20年度 課題別副専攻

■テーマの名称「外国語（フランス語）」

副専攻の概要 フランス語の4技能（読む・書く・聞く・話す）のバランスのとれた運用能力の育成と、言語の営みが生み出す文化（政治・法律・経済・歴史・芸術 etc）についての幅広い教養の習得を目指す学習プログラムを提供する。

副専攻のねらい フランス語の運用能力を養成し、フランス語という言語の営みが生み出す文化に親しむ。

副専攻の到達目標 フランス語検定試験2級レベルのフランス語の文章を読み、内容を説明できる。

副専攻委員会委員 ○高田 晴夫
・高木 裕
・村上 吉男
・逸見 龍生

認定条件及び評価の方法

【各テーマ共通の認定条件】

- ・本副専攻プログラムが定めた授業科目から24単位以上を習得していること。
- ・卒業時の総修得単位数が、所属する学部の卒業要件単位数に12単位以上を加えたものであること。
- ・卒業時のGPAが2.5以上であること。
- ・当該学生が所属する主専攻課程（学科）に関わる科目のうち、副専攻科目として認定する単位は最大6単位とする。

【各テーマ独自の認定条件等】

- ・コア科目からR科目を含む18単位以上の単位取得が必要である。
- ・備考欄A群（中級レベル）の科目から6単位以上、B群（上級レベル）の科目から4単位以上の単位習得が必要である。
- ・与えられた課題についてレポートを提出すること。

分類	授業科目名	単位	形式	授業担当者	所属	講義番号	分野	水準	備考
コア	フランス学研究法	1	演習	高田晴夫・C. ヴィアト	人社・教育系 (人)	080Q9024	71	03	R
コア	外国語ベーシック (独・仏・露)	2	講義	佐藤 渉・他	非常勤講師		71	03	
コア	外国語ベーシック (独・仏・アラビア)	2	講義	村上吉男・他	人社・教育系 (人)		71	03	
コア	フランス語ベーシック	3	演習	村上吉男・他	人社・教育系 (人)		71	03	
コア	フランス語スタンダード I / II	3	演習	逸見龍生・他	人社・教育系 (人)		71	03	
コア	フランス語インテンシブ I / II	4	演習	高木裕・他	人社・教育系 (人)		71	03	
コア	コミュニケーション・フランス語A	2	演習	J. F. グリー	非常勤講師	080G1041	71	03	A
コア	コミュニケーション・フランス語B	2	演習	C. ヴィアト	非常勤講師	080G1042	71	03	A
コア	コミュニケーション・フランス語C	2	演習	稲垣 文雄	非常勤講師	080G1537	71	03	A
コア	コミュニケーション・フランス語D	2	演習	J. F. グリー	非常勤講師	080G1538	71	03	A
コア	ヨーロッパ文化研究法B	2	演習	村上 吉男	人社・教育系 (人)	080H3220	29	13	A
コア	ヨーロッパ文化基礎演習C	2	演習	高木 裕	人社・教育系 (人)	080H3256	29,30	13	A
コア	ヨーロッパ文化基礎演習D	2	演習	高田 晴夫	人社・教育系 (人)	080H3257	29,30	13	A
コア	ヨーロッパ文芸論B	2	講義	高木 裕	人社・教育系 (人)	080H3144	29	04	B
コア	フランス語セミナーA	2	講義	稲垣文雄	人社・教育系 (人)	080G1043	71	04	B
コア	ヨーロッパ言語論B	2	講義	高田 晴夫	人社・教育系 (人)	080H3146	30	04	B
コア	フランス文化演習	2	演習	高木 裕	人社・教育系 (人)	080H3375	29,30	14	B
コア	フランス文化演習	2	演習	高木 裕	人社・教育系 (人)	080H3376	29,30	14	B
コア	フランス文化演習	2	演習	高田 晴夫	人社・教育系 (人)	080H3377	29,30	14	B
コア	フランス文化演習	2	演習	村上 吉男	人社・教育系 (人)	080H3378	29,30	14	B
コア	外書講読 I (仏)	2	演習	廣田 功	人社・教育系 (経)	080E0003	36,70	04	B
コア	外書講読 II (仏)	2	演習	廣田 功	人社・教育系 (経)	080E0015	36,70	04	B
コア	外国研究基礎演習	2	演習	松本英実	人社・教育系 (法)	080L1210	34	13	B
コア	海外研修	※	実習			080Q0020	71	04	
関連	ヨーロッパ文化概説C	2	講義	高木 裕	人社・教育系 (人)	080H3067	29	03	
関連	ヨーロッパ文化概説D	2	講義	高木 裕	人社・教育系 (人)	080H3068	29	03	
関連	ヨーロッパ文化論C	2	講義	村上 吉男	人社・教育系 (人)	080H3150	29	04	
関連	ヨーロッパ文化論D	2	講義	村上 吉男	人社・教育系 (人)	080H3151	29	04	
関連	ヨーロッパ言語概説C	2	講義	高田 晴夫	人社・教育系 (人)	080H3063	30	03	
関連	ヨーロッパ言語概説D	2	講義	高田 晴夫	人社・教育系 (人)	080H3064	30	03	
関連	表象文化基礎論B	2	演習	逸見 龍生	人社・教育系 (人)	080H3077	10,29	03	
関連	文化コミュニケーション論演習	2	演習	逸見 龍生	人社・教育系 (人)	080H3411	10,29	14	
関連	文化コミュニケーション論演習	2	演習	逸見 龍生	人社・教育系 (人)	080H3412	10,29	14	
関連	現代文化論A	2	講義	逸見 龍生	人社・教育系 (人)	080H3164	10,29	04	
関連	EU経済論	2	講義	廣田 功	人社・教育系 (経)	080E1507	36	04	

※海外研修については、教育施設および教育課程を審査の上、単位を認めることがある。
備考：Aは「中級レベルの選択必修科目」、Bは「上級レベルの選択必修科目」を表す。
備考欄に記号のない科目は「選択科目」を表す。

平成20年度 課題別副専攻

■テーマの名称「外国語（コリア）」

副専攻の概要 日本と南北コリア（大韓民国、朝鮮民主主義人民共和国）とは長い間「近くて遠い国」と言われてきたが、今や日本と韓国を年間400万人が往来する時代であり、経済的・文化的・政治的な結びつきは強まるばかりである。世界の言語の中でも日本語と最も共通点の多い朝鮮語を使いこなし、多様な情報を取捨選択する判断力を養うとともに、隣国・隣人として互いを理解し、協調するための歴史的・文化的な知識と、行動力を身につける。

副専攻のねらい 日本という国土に住む私たちは、いやおうなく東アジアおよびそれを取り巻く世界との関係の中で生きている。東アジア特に南北コリアと日本とが良好な関係を築くことは、「世界史」の新たな局面を開く実験となり得るかも知れない。朝鮮語学習および、韓国ほかアジア諸国からの留学生との交流を通じてそのような視点を持ち、異なる文化や歴史に対して、柔軟な発想で対話ができる「主体」となることをめざす。

副専攻の到達目標 大学での学修や日常生活について、朝鮮語で紹介できるようになる。辞書を引きながら、新聞やインターネットの記事を読んだり、検索することができる。朝鮮語でメールのやり取りができる(韓国語能力試験2級以上、「ハンゲル」能力検定試験3級以上のレベル)。

副専攻委員会委員 ○藤石 貴代
・山内 民博

認定条件及び評価の方法

【各テーマ共通の認定条件】

- ・本副専攻プログラムが定めた授業科目から24単位以上を修得していること。
- ・卒業時の総修得単位数が、所属する学部の卒業要件単位数に12単位以上を加えたものであること。
- ・卒業時のGPAが2.5以上であること。
- ・当該学生が所属する主専攻課程(学科)に関わる科目のうち、副専攻科目として認定する単位は最大6単位とする。

【各テーマ独自の認定条件等】

- ・コア科目からR科目を含む12単位以上の単位取得が必要である。
- ・備考欄A群の科目から5単位以上、B群の科目から6単位以上、さらに B・C群の科目から必要単位数を修得すること。
- ・「ハンゲル」能力検定試験3級（もしくは韓国語能力試験2級）以上に合格すること。

分類	授業科目名	単位	形式	授業担当者	所属	講義番号	分野	水準	備考
コア	コリア学入門	1	演習	藤石 貴代・他	人社・教育系(人)	080Q9025	71	03	R
コア	国際交流	2	演習	藤石 貴代・他	人社・教育系(人)	080Q9026	71	03	R
コア	外国語ベーシックⅠ(朝・中・露語)	2	講義	金子 一郎・他	人社・教育系(人)		71	03	A
コア	朝鮮語ベーシックⅡ	3	演習	金 世朗・他	非常勤講師		71	03	A
コア	朝鮮語スタンダードⅠ/Ⅱ	3	演習	朴 修禧・他	非常勤講師		71	03	A
コア	朝鮮語インテンシブⅠ/Ⅱ	4	演習	藤石 貴代・他	人社・教育系(人)		71	03	A
コア	コミュニケーション・朝鮮語A	2	演習	鄭 賢熙	非常勤講師	080G1070	71	03	C
コア	コミュニケーション・朝鮮語B	2	演習	金 世朗	非常勤講師	080G1071	71	03	C
コア	コミュニケーション・朝鮮語C	2	演習	鄭 賢熙	非常勤講師	080G1568	71	03	C
コア	コミュニケーション・朝鮮語D	2	演習	金 世朗	非常勤講師	080G1569	71	03	C
コア	朝鮮語セミナーA	2	演習	金 世朗	非常勤講師	080G1072	71	04	C
コア	歴史学Q	2	講義	山内 民博	人社・教育系(人)	080G7525	31	03	C
コア	アジア言語文化研究法A	2	演習	藤石 貴代	人社・教育系(人)	080H3210	30	13	C
コア	アジア歴史文献研究法A	2	演習	山内 民博	人社・教育系(人)	080H3212	31	13	C
コア	アジア歴史文献研究法B	2	演習	山内 民博	人社・教育系(人)	080H3213	31	13	C
コア	アジア歴史文化論B	2	演習	山内 民博	人社・教育系(人)	080H3131	31	04	C
コア	朝鮮言語文化論	2	演習	藤石 貴代	人社・教育系(人)	080H3130	29	04	C
コア	海外研修	※	実習			080Q0020	71	04	C
関連	アジア文化入門A	2	講義	山内 民博・他	人社・教育系(人)	080H3010	29	03	B
関連	アジア文化入門B	2	講義	橋谷 英子・他	人社・教育系(人)	080H3011	29	03	B
関連	異文化を考える～国際関係・国際協力の視点から	2	講義	阿波村 稔	国際センター	080G3717	75	03	B
関連	異文化コミュニケーションB	2	実習	池田 英喜	国際センター	080G3235/080G3734	75	03	B
関連	日本事情人文系B	2	演習	池田 英喜	国際センター	080G4010/080G4505	99	03	B
関連	日本語教育Ⅰ-A	2	演習	池田 英喜	国際センター	080G7022	30	03	B
関連	日本語教育Ⅱ-A	2	演習	足立 祐子	国際センター	080G7023	30	04	B
関連	日本語教育Ⅰ-B	2	演習	足立 祐子	国際センター	080G7519	30	03	B
関連	日本語教育Ⅱ-B	2	演習	池田 英喜	国際センター	080G7520	30	04	B
関連	アジア経済論Ⅱ	2	講義	溝口 由己	人社・教育系(経)	080E1511	36	04	B
関連	政治社会学	2	講義	真水 康樹	人社・教育系(法)	080L0052	35	03	B
関連	特殊講義(東アジア国際政治史)	2	講義	真水 康樹	人社・教育系(法)	080L0112	35	13	B
関連	特殊講義(韓国政治の現在 2008)	2	講義	丁 榮泰	非常勤講師	080L0073	35	03	B
関連	国際法概論	2	講義	山崎 公士	人社・教育系(院実法)	080L0038	34	03	B
関連	国際人権法	2	講義	山崎 公士	人社・教育系(院実法)	080L0039	34	04	B

※海外研修については、教育施設及び教育課程を審査の上、単位を認めることがある。

備考：Rは「必修科目」、Aは「朝鮮語運用能力開発のための科目」、Bは「幅広くコリアを理解するための科目」、Cは「コリアに関する専門科目」を表す。

平成20年度 課題別副専攻

■テーマの名称「外国語（ロシア語）」

副専攻の概要	日本海に面しているという新潟の地理上の特性に鑑み、ロシア語の分かる地方公務員、基本的なロシア語会話ができる英語教師、ロシアの文化について語ることのできるジャーナリストといった人材を育てるためのカリキュラムである。ロシア語の初級、中級文法とロシア文化の基本的な知識の習得を目指す。
副専攻のねらい	別に専門を持ちながらロシアの人々、ロシアの文化と接していくためのロシア語の力を身につける。また、ロシアの文化にアクセスするためのノウ・ハウを身につける。
副専攻の到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 習得語彙数1000以上。形動詞・副動詞まで含めた基本的な文法を習得し、活用できる。 2. ゆっくりとしたテンポで基本的な会話ができる。 3. 新聞・雑誌の記事等を辞書を使って読解できる。 (指定のロシア語検定2級受験レベル)。
認定条件及び評価の方法	<p>【各テーマ共通の認定条件等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本副専攻プログラムが定めた授業科目から24単位以上を修得していること。 ・卒業時の総修得単位数が、所属する学部の卒業要件単位数に12単位以上を加えたものであること。 ・卒業時のGPAが2.5以上であること。 ・当該学生が所属する主専攻課程（学科）に関わる科目のうち、副専攻科目として認定する単位は最大6単位とする。 <p>【各テーマ独自の認定条件等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コア科目から必修科目を含む12単位以上の単位取得が必要である。 ・備考欄A群の科目から6単位以上の単位取得が必要である。 ・必ず、ロシア文化演習を最低2単位受講すること。尚、それまでにここに定めた科目から18単位以上取得していること。 ・認定申請時に、所定のレポートを提出して合格すること。

副専攻委員会委員

○齋藤 陽一
・鈴木 正美
・番場 俊

分類	授業科目名	単位	形式	授業担当者	所属	講義番号	分野	水準	備考
コア	ロシア学研究法	1	演習	齋藤 陽一・他	人社・教育系(人)	080Q9027	71	03	R
コア	外国語ベーシックⅠ(独・仏・露)	2	講義	齋藤 陽一・他	人社・教育系(人)		71	03	A
コア	ロシア語ベーシックⅡ	3	演習	番場 俊	人社・教育系(人)		71	03	A
コア	ロシア語スタンダードⅠ/Ⅱ	3	演習	中谷 昌弘・他	非常勤講師		71	03	A
コア	ロシア語インテンシブⅠ/Ⅱ	4	演習	齋藤 陽一・他	人社・教育系(人)		71	03	A
コア	ロシア語オブショナルA	2	講義	番場 俊	人社・教育系(人)	080G7042	71	03	A
コア	初級ロシア語Ⅰ/Ⅱ	1	演習	市川 康子	非常勤講師		71	03	A(夜間主)
コア	コミュニケーション・ロシア語A	2	演習	R.ブラーソル	非常勤講師	080G1048	71	03	
コア	コミュニケーション・ロシア語B	2	演習	富山 栄子	非常勤講師	080G1049	71	03	
コア	コミュニケーション・ロシア語C	2	演習	富山 栄子	非常勤講師	080G1545	71	03	
コア	ロシア語セミナーA	2	演習	鈴木 正美	人社・教育系(人)	080G1050	71	04	
コア	ロシア語セミナーB	2	演習	R.ブラーソル	非常勤講師	080G1546	71	04	
コア	ヨーロッパ文化基礎演習E	2	演習	番場 俊	人社・教育系(人)	080H3258	29,30	13	
コア	ヨーロッパ文化基礎演習F	2	演習	鈴木 正美	人社・教育系(人)	080H3259	29,30	13	
コア	ヨーロッパ文化研究法C	2	演習	鈴木 正美	人社・教育系(人)	080H3221	29	13	
コア	ヨーロッパ言語概説E	2	講義	鈴木 正美	人社・教育系(人)	080H3065	30	03	
コア	ヨーロッパ文化概説E	2	講義	番場 俊	人社・教育系(人)	080H3069	29	03	
関連	海外研修	※	実習			080Q0020	71	04	
関連	文学D	2	講義	番場 俊	人社・教育系(人)	080G7508	29	03	
関連	ロシア文化演習	2	演習	鈴木 正美	人社・教育系(人)	080H3379	29	14	R★
関連	ロシア文化演習	2	演習	鈴木 正美	人社・教育系(人)	080H3380	29	14	R★
関連	ロシア文化演習	2	演習	番場 俊	人社・教育系(人)	080H3381	29	14	R★
関連	ロシア文化演習	2	演習	齋藤 陽一	人社・教育系(人)	080H3382	29	14	R★
関連	ヨーロッパ文芸論C	2	講義	鈴木 正美	人社・教育系(人)	080H3145	29	04	
関連	ヨーロッパ言語論C	2	講義	鈴木 正美	人社・教育系(人)	080H3147	30	04	
関連	ヨーロッパ文化論E	2	講義	齋藤 陽一	人社・教育系(人)	080H3152	29	04	
関連	表象文化論B	2	講義	番場 俊	人社・教育系(人)	080H3167	10,29	04	
関連	比較表現論B	2	講義	齋藤 陽一	人社・教育系(人)	080H3169	10,29	04	
関連	ロシア経済論	2	講義	小山 洋司	人社・教育系(経)	080E1508	36	04	

※海外研修については、教育施設及び教育課程を審査の上、単位を認めることがある。
備考：Rは「必修科目」、R★は「選択必修科目」、Aは「初歩的科目」を表す。

平成20年度 課題別副専攻

■テーマの名称「外国語（中国語）」

副専攻の概要 グローバル化する世界で、中国語文化圏の占める位置はますます大きくなっている。中国語の高度な実践的運用能力を涵養すると共に、中国語文化圏についての基礎的知識を有し、広い視野に立って中国および国際問題とかかわっていける人材を育てる。

副専攻のねらい 中国語の実践的能力を習得し、中国語文化圏のさまざまな事象への理解を深める。

副専攻の到達目標 中国の大学における専門課程の授業を理解できる（HSK 7級合格レベル）

副専攻委員会委員 ○橋谷 英子
・児玉 憲明
・朱 繼征

認定条件及び評価の方法

【各テーマ共通の認定条件】

- ・本副専攻プログラムが定めた授業科目から24単位以上を修得していること。
- ・卒業時の総修得単位数が、所属する学部卒業要件単位数に12単位以上を加えたものであること。
- ・卒業時のGPAが2.5以上であること。
- ・当該学生が所属する主専攻課程（学科）に関わる科目のうち、副専攻科目として認定する単位は最大6単位とする。

【各テーマ独自の認定条件等】

- ・コア科目から必修科目を含む12単位以上の単位取得が必要である。
- ・備考欄A群（中級レベル）の科目から6単位以上、B群（上級レベル）の科目から6単位以上の単位取得が必要である。

分類	授業科目名	単位	形式	授業担当者	所属	講義番号	分野	水準	備考
コア	中国学研究法	1	講義	斯日 古楞・他	非常勤講師	080Q9028	71	03	
コア	外国語ベーシック(中・朝・インドネシア)	2	講義	楊 夫高・他	非常勤講師		71	03	
コア	中国語インテンシブⅠ/Ⅱ	4	演習	橋谷 英子・他	人社・教育系(人)		71	03	
コア	中国語スタンダードⅠ/Ⅱ	3	演習	茂木 信之・他	人社・教育系(経)		71	03	
コア	中国語ベーシックⅡ	3	演習	藤田 益子	国際センター		71	03	
コア	初級中国語Ⅰ/Ⅱ	1	演習	肖 航	非常勤講師		71	03	
コア	コミュニケーション・中国語A	2	演習	詹 秀娟	非常勤講師	080G1062	71	03	A
コア	コミュニケーション・中国語B	2	演習	楊 夫高	非常勤講師	080G1063	71	03	A
コア	コミュニケーション・中国語C	2	演習	蔣 非非	人社・教育系(人)	080G1064	71	03	A
コア	中国語セミナーD	2	演習	斯日 古楞	非常勤講師	080G1562	71	04	B
コア	コミュニケーション・中国語F	2	演習	詹 秀娟	非常勤講師	080G1560	71	03	A
コア	コミュニケーション・中国語G	2	演習	楊 夫高	非常勤講師	080G1561	71	03	A
コア	上海語演習	2	演習	応 雋	非常勤講師	080G1563	71	04	B
関連	アジア文化入門B	2	講義	橋谷 英子・他	人社・教育系(人)	080H3011	29	03	
コア	海外研修					080Q0020	71	04	
コア	国際コミュニケーション(中)ⅠA	2	演習	朱 繼征	人社・教育系(経)	080E1602	30,71	14	A
コア	国際コミュニケーション(中)ⅡA	2	演習	朱 繼征	人社・教育系(経)	080E1603	30,71	14	B
コア	外書講読Ⅱ	2	演習	溝口 由己	人社・教育系(経)	080E0020	36,70	04	
コア	異文化論	2	講義	朱 繼征	人社・教育系(経)	080E1519	33	04	
コア	異文化論	2	講義	茂木 信之	人社・教育系(経)	080E6143	33	04	夜間主
コア	HSK(漢語水平考試)受験対策講座Ⅰ	2	講義	藤田 益子	国際センター	080G3713	75	03	A
コア	HSK(漢語水平考試)受験対策講座Ⅱ	2	講義	藤田 益子	国際センター	080G3714	75	03	B
関連	中国留学準備講座Ⅰ	2	演習	藤田 益子	国際センター	080G3237	75	03	
関連	中国留学準備講座Ⅱ	2	演習	藤田 益子	国際センター	080G3238	75	03	
関連	上海に行こうⅠ	2	演習	柴田 幹夫	国際センター	080G3226	75	03	
関連	上海に行こうⅡ	2	演習	柴田 幹夫	国際センター	080G3729	74,75	03	
コア	中国語セミナーA	2	演習	斯日 古楞	非常勤講師	080G1065	71	04	B
コア	中国語セミナーB	2	演習	蔣 非非	人社・教育系(人)	080G1066	71	04	B
コア	アジア文化基礎演習B	2	演習	児玉 憲明	人社・教育系(人)	080H3247	29,30	13	
コア	アジア言語文化概説A	2	演習	橋谷 英子	人社・教育系(人)	080H3054	29	03	A
コア	アジア言語文化概説B	2	演習	橋谷 英子	人社・教育系(人)	080H3055	29	03	B
コア	中国言語文化論A	2	講義	石 汝傑	非常勤講師	080H3127	30	04	
関連	東アジア共同体可能性と中国外交	2	講義	張 雲	国際センター	080G3704	75	03	
コア	特殊講義(中国法入門)	2	講義	劉 東進	人社・教育系(法)	080L1104	34	03	
関連	特殊講義(東アジア国際政治史)	2	講義	真水 康樹	人社・教育系(法)	080L0112	35	13	
コア	特殊講義(中国政治入門)	2	講義	未定	人社・教育系(法)	080L0083	35	03	
関連	中国法史	2	講義	國谷 知史	人社・教育系(法)	080L0045	34	03	
関連	アジア史概説A	2	講義	關尾 史郎	人社・教育系(人)	080H3057	31	03	
関連	中国社会学論	2	講義	広川 佐保	人社・教育系(人)	080H3133	31	04	
関連	アジア歴史文献研究法A	2	講義	井村 哲郎	人社・教育系(人)	080H3216	31	13	
コア	アジア言語文化論B	2	講義	田口 一郎	非常勤講師	080H3126	29,30	04	
関連	中国思想文化論	2	講義	児玉 憲明	人社・教育系(人)	080H3129	29	04	
コア	中国文芸文化論A	2	講義	橋谷 英子	人社・教育系(人)	080H3128	29	04	
コア	アジア言語文化論A	2	講義	児玉 憲明	人社・教育系(人)	080H3125	30	04	

※海外研修については、教育施設及び教育課程を審査の上、単位を認めることがある。
備考：Rは「必修科目」、Aは、「中級レベル」、Bは「上級レベル」

平成20年度 課題別副専攻

■テーマの名称「世界システム論」

副専攻の概要 近代以降の世界を読み解くためには、世界全体をある種の構造を有するものとしてとらえていくことが必要となったといえる。そして「グローバル化」が進展する今日世界の一体化は急速に進展している。しかし、その中で、また、地域の重要性も再認識されるようになってきている。したがって、現代を把握するには両者の関係を理解することが鍵となる。本プログラムは、こうした現代をより深く把握するために設計されたプログラムである。

副専攻のねらい 1. 今日進展しているグローバル化といわれる現象はどのようなものであるのかを理解できるようになる。
2. 新潟という地域、そこで暮らしている人々（われわれも）とグローバル化との関係について理解できるようになる。
3. 新潟という地域に足を踏まえ国際社会で活躍するための考え方を身につけることができるようになる。

副専攻の到達目標 1. 資本主義の発展を世界的視野から大まかに説明することができる。
2. 北東アジアの国々・諸地域の現状を把握し、それらの特徴を簡潔に説明することができる。
3. グローバル化の進展と地域社会との関係を理解した上で、今後研究を深める、あるいは、携わっていかうと思う課題を明らかにすることができる。

副専攻委員会委員 ○菅原 陽心
・佐野 誠
・向山 恭一

認定条件及び評価の方法

【各テーマ共通の認定条件】

- ・本副専攻プログラムが定めた授業科目から24単位以上を修得していること。
- ・卒業時の総修得単位数が、所属する学部卒業要件単位数に12単位以上を加えたものであること。
- ・卒業時のGPAが2.5以上であること。
- ・当該学生が所属する主専攻課程（学科）に関わる科目のうち、副専攻科目として認定する単位は最大6単位とする。

【各テーマ独自の認定条件等】

- ・コア科目から必修科目(備考欄にRと記載)を含む12単位以上の単位取得が必要である。
- ・コア科目の内、A、Bと区分された科目から、それぞれ2科目以上履修することが必要である。

分類	授業科目名	単位	形式	授業担当者	所属	講義番号	分野	水準	備考
コア	グローバル化入門	1	演習	菅原 陽心	人社・教育系(経)	080Q9029	36,38	3	R
コア	社会学	2	講義	内田 健	人社・教育系(教)	080K5615	38	04	A
コア	社会調査概説	2	講義	佐藤 康行	人社・教育系(人)	080H3032	38	03	A
コア	現代市民社会論Ⅰ	2	講義	向山 恭一	人社・教育系(教)	080K7013	38	04	A
コア	国際法概論	2	講義	山崎 公士	人社・教育系(院実法)	080L0038	34	03	A
コア	入門現代経済	2	講義	菅原 陽心	人社・教育系(経)	080E6015	36	03	B
コア	世界経済史Ⅱ	2	講義	佐藤 芳行	人社・教育系(経)	080E6159	36	04	B
コア	アメリカ経済論Ⅰ	2	講義	大森 拓磨	人社・教育系(経)	080E6157	36	04	B
コア	食料・資源問題入門	2	講義	青柳 齊	自然科学系(農)	080A1001	62,64	03	B
コア	アジア経済論Ⅰ	2	講義	溝口 由己	人社・教育系(経)	080E1510	36	04	B
コア	特殊講義(東アジア国際政治史)	2	講義	真水 康樹	人社・教育系(法)	080L0112	35	13	
コア	経済政策論Ⅰ	2	講義	芳賀 健一	人社・教育系(経)	080E6100	36	04	
コア	日本経済史	2	講義	藤井 隆至	人社・教育系(院現社)	080E6132	36	04	
コア	EU経済論	2	講義	廣田 功	人社・教育系(経)	080E6134	36	04	
コア	国際企業論	2	講義	永山 庸男	人社・教育系(院技経)	080E3328	37	04	
コア	北東アジア社会経済演習	2	演習	未定	非常勤講師	080Q0030	36,37	3	R
関連	アジア文化入門A	2	講義	山内 民博・他	人社・教育系(人)	080H3010	29	03	
関連	ヨーロッパ文化入門B	2	講義	高木 裕	人社・教育系(人)	080H3015	29	03	
関連	歴史学Ⅱ	2	講義	高橋 秀樹	人社・教育系(人)	080G7017	31	03	
関連	現代市民社会論Ⅱ	2	講義	向山 恭一	人社・教育系(教)	080K7014	38	04	
関連	現代社会関係論Ⅱ	2	講義	内田 健	人社・教育系(教)	080K6914	38	04	
関連	入門社会経済学	2	講義	菅原 陽心	人社・教育系(経)	080E1015	36	03	
関連	世界経済史Ⅰ	2	講義	佐藤 芳行	人社・教育系(経)	080E1503	36	04	
関連	比較経済体制論	2	講義	小山 洋司	人社・教育系(経)	080E1528	36	04	
関連	経済政策論Ⅱ	2	講義	芳賀 健一	人社・教育系(経)	080E1101	36	04	
関連	アメリカ経済論Ⅱ	2	講義	大森 拓磨	人社・教育系(経)	080E1526	36	04	
関連	アジア経済論Ⅱ	2	講義	溝口 由己	人社・教育系(経)	080E6138	36	04	
関連	国際保健医療学	2	講義	丹野 かほる・他	医歯学系(医)	080M5027	81	03	
関連	医療ボランティア論	2	講義	斎藤 君枝・他	医歯学系(医)	080M5023	81	03	
関連	演習ⅠA	2	演習	菅原 陽心・他	人社・教育系(経)	080E2005	36	13	
関連	演習ⅠB	2	演習	菅原 陽心・他	人社・教育系(経)	080E2025	36	13	
関連	演習ⅡA	2	演習	菅原 陽心・他	人社・教育系(経)	080E2045	36	14	
関連	演習ⅡB	2	演習	菅原 陽心・他	人社・教育系(経)	080E2065	36	14	
関連	演習ⅠA	2	演習	佐藤 芳行	人社・教育系(経)	080E2003	36	13	
関連	演習ⅠB	2	演習	佐藤 芳行	人社・教育系(経)	080E2023	36	13	
関連	演習ⅡA	2	演習	佐藤 芳行	人社・教育系(経)	080E2044	36	14	
関連	演習ⅡB	2	演習	佐藤 芳行	人社・教育系(経)	080E2064	36	14	
関連	演習ⅠA	2	演習	溝口 由己	人社・教育系(経)	080E2016	36	14	
関連	演習ⅠB	2	演習	溝口 由己	人社・教育系(経)	080E2036	36	14	
関連	演習ⅡA	2	演習	溝口 由己	人社・教育系(経)	080E2066	36	14	
関連	演習ⅡB	2	演習	溝口 由己	人社・教育系(経)	080E2076	36	14	
関連	演習ⅠA	2	演習	佐野 誠	人社・教育系(経)	080E2004	36	13	
関連	演習ⅠB	2	演習	佐野 誠	人社・教育系(経)	080E2024	36	13	

備考：Rは「必修科目」、Aは、「人文学・法学分野選択必修科目」、Bは「経済学分野選択必修科目」、Cは「経済学分野科目」、Dは「人文学分野科目」、Eは「法学分野科目」、Fは「医学分野科目」、Sは「演習科目」を表す。

平成20年度 課題別副専攻

■テーマの名称「平和学」

副専攻の概要 「平和」とは単に「戦争のない状態」（消極的平和）ではなく、人間が自由に能力を発揮できる状態（積極的平和）である。しかし、世界各地では戦闘が続いており、飢餓・貧困・人権侵害・社会的差別等によって、人びとが平穏に暮らせない状況が存在する。積極的平和の実現には、人権の尊重、経済的・政治的安定、安全な環境等々が必須条件となるため、平和、人権と開発の問題は深く関わっている。この課題別副専攻では、幅広い分野にわたる広義の平和問題を多角的に理解し、積極的平和に関し主体的に考え、行動できる人材の育成を目指す。

副専攻のねらい 平和、人権と開発の問題は深く関わっている。この課題別副専攻では、幅広い分野にわたる広義の平和問題を多角的に理解し、積極的平和に関し主体的に考え、行動できる人材の育成を目指す。

副専攻の到達目標

1. 消極的平和を阻害する現状を認識し、その原因を考察できるようになる。
2. 積極的平和を阻害する「構造的暴力」の現状を認識し、その原因を考察できるようになる。
3. 平和・人権・開発問題の相互連関を認識できるようになる。
4. 上記の認識・考察を踏まえ、積極的平和に向けて主体的に行動できるようになる。

副専攻委員会委員 ○山崎 公士
・赤井 純治
・山崎 健

認定条件及び評価の方法

【各テーマ共通の認定条件】

- ・本副専攻プログラムが定めた授業科目から24単位以上を修得していること。
- ・卒業時の総修得単位数が、所属する学部卒業要件単位数に12単位以上を加えたものであること。
- ・卒業時のGPAが2.5以上であること。
- ・当該学生が所属する主専攻課程（学科）に関わる科目のうち、副専攻科目として認定する単位は最大6単位とする。

【各テーマ独自の認定条件等】

- ・備考にあるR科目のうち、3科目（6単位）を修得すること。
- ・コア科目のうち、備考にあるR科目は必修であり、すべて修得すること。
- ・コア科目のうち、備考にあるA科目から2科目(4単位)を修得すること。
- ・コア科目のうち、備考にあるB科目から2科目(4単位)を修得すること。
- ・本副専攻プログラムが定めた授業科目のGPAが3.0以上であること。
- ・「平和学総合演習」は最終年に履修しなければならない必修科目である。
- ・コア科目のうち、「平和を考える A」及び「平和を考える B」は導入のための科目であり、受講するのが望ましい。
- ・履修条件については、シラバス記載の各担当教員の指示に注意すること。
- ・修了レポート（1万字程度）を提出すること。

分類	授業科目名	単位	形式	授業担当者	所属	講義番号	分野	水準	備考
コア	平和学入門	1	講義	里見 佳香	非常勤講師	080Q9031	99	03	R
コア	平和学総合演習	1	演習	山崎 公士	人社・教育系(院実法)	080Q0032	99	05	R
コア	平和を考えるA	2	講義	山崎 健	人社・教育系(教)	080G3223	75	03	A
コア	平和を考えるB	2	講義	山崎 健	人社・教育系(教)	080G3725	75	03	A
コア	平和を考えるin新潟	2	講義	赤井 純治・他	自然科学系(理)	080G3703	75	03	A
コア	開発と平和	2	講義	連井 誠一郎	非常勤講師	080Q0033	99	03	R
コア	比較地域社会学	2	講義	佐藤 康行	人社・教育系(人)	080G3207	75	03	B
コア	比較教育学	2	講義	世取山 洋介	人社・教育系(教)	080K5006	40	04	B
コア	憲法基礎Ⅰ	2	講義	成嶋 隆	人社・教育系(院実法)	080L1017	34	03	A
コア	憲法基礎Ⅱ	2	講義	大河内 美紀	人社・教育系(法)	080L1018	34	03	A
コア	国際法概論	2	講義	山崎 公士	人社・教育系(院実法)	080L0038	34	03	B
コア	国際人権法	2	講義	山崎 公士	人社・教育系(院実法)	080L0039	34	04	C
コア	法政演習(国際人権法2008Ⅰ)	2	演習	山崎 公士	人社・教育系(院実法)	080L0267	34	14	C
コア	法政演習(国際人権法2008Ⅱ)	2	演習	山崎 公士	人社・教育系(院実法)	080L0268	34	14	C
コア	国際開発協力演習(環境と開発)	2	演習	宮田 春夫	国際センター	080Q0034	99	04	B
コア	マス・メディア論	2	講義	吉田 和比古	人社・教育系(法)	080L1054	35,38	03	B
コア	アジア経済論Ⅰ	2	講義	溝口 由己	人社・教育系(経)	080E1510	36	04	B
コア	科学・技術と社会	2	講義	竹内 照雄・他	自然科学系(理)	080G6001	16	03	B
コア	障害者の人権	2	講義	川島 聡	非常勤講師	080Q0035	99	04	B
関連	環日本海社会論	2	講義	井村 哲郎	人社・教育系(現)	080H3114	31	04	B
関連	人文社会情報論	2	講義	原田 健一	人社・教育系(人)	080G7516	10	04	B
関連	比較教育学演習A	2	演習	世取山 洋介	人社・教育系(教)	080K5029	40	14	C
関連	比較教育学演習B	2	演習	世取山 洋介	人社・教育系(教)	080K5030	40	13	C
関連	国際関係論	2	講義	黒田 俊郎	非常勤講師	080L0035	35	03	B
関連	経済学入門	2	講義	佐藤 芳行	人社・教育系(経)	080G7064	36	03	B
関連	アジア経済論Ⅱ	2	講義	溝口 由己	人社・教育系(経)	080E6138	36	04	B
関連	行政救済法	2	講義	下井 康史	人社・教育系(院実法)	080L0020	34	04	B
関連	開発途上国の環境と開発：事例研究	2	演習	宮田 春夫	国際センター	080G3739	75	05	C
関連	国際開発協力論：「開発」概念Ⅰ	2	講義	宮田 春夫	国際センター	080Q0047	99	04	B
関連	国際開発協力論：「開発」概念Ⅱ	2	講義	宮田 春夫	国際センター	080Q0048	99	04	B

備考：Rは「必修科目」、Aは、「選択必修科目」、Bは「先端科目」、Cは「展開科目」を表す。

平成20年度 課題別副専攻

■テーマの名称「地域学」

副専攻の概要 地域は、血縁や利益集団と並ぶ地縁による重層的な帰属集団からなり、長い歴史を有する。しかし今や地域は自治体再編などで大きく揺れ、ここで生きる住民の未来には地域の自立の課題などが多様に重くのしかかっている。住民にとっての課題解決を追求する地域学は、本学個性化科目の地域研究や地域入門の履修をステップに、新潟地域をフィールドとし、地域に生きる上での課題を実践と理論から学習して普遍化し、課題解決のプランを学ぶプログラムである。

副専攻のねらい この副専攻を学習する意義は、地域の問題や課題について深く調査し、親しみ、考えたキャリアをもとに、各専門研究の立場から地域課題の解決に明るい人材を生み出すことに寄与できる。

副専攻の到達目標

1. 学生は、立場こそ違え、地域住民における様々な問題に関心を持ち、課題をともに担う態度をもって、それぞれの専門的立場からの解決を追求する場合の基礎力を身につける。
2. 1のために地域を歩き、地域を観察し、地域の人や歴史と出会って、自分が地域のなにかに関心があるかを確認する。
3. 2に加えさらにその問題を調査し、深めて、課題を明らかにする報告書を作成することができるようになる。
4. これらは新潟の街をフィールドワークして背景となっている地域社会の歴史と文化などを深く理解することができる。

副専攻委員会委員 ○原 直史
・有田 博之
・加藤 かおり

認定条件及び評価の方法

【各テーマ共通の認定条件】

- ・本副専攻プログラムが定めた授業科目から24単位以上を修得していること。
- ・卒業時の総修得単位数が、所属する学部卒業要件単位数に12単位以上を加えたものであること。
- ・卒業時のGPAが2.5以上であること。
- ・当該学生が所属する主専攻課程（学科）に関わる科目のうち、副専攻科目として認定する単位は最大6単位とする。

【各テーマ独自の認定条件等】

- ・コア科目からR科目を4単位、A科目の3科目のうちから2単位の計6単位を含む含む12単位以上の単位取得が必要である。

分類	授業科目名	単位	形式	授業担当者	所属	講義番号	分野	水準	備考
コア	地域学序説入門	1	講義	原 直史・他	人社・教育系（院現社）	080Q9041	99	03	R
コア	地域学実習	1	実習	原 直史・他	人社・教育系（院現社）	080Q0042	99	04	R
コア	地域学演習	2	演習	原 直史・他	人社・教育系（院現社）	080Q0043	99	04	R
コア	現代新潟地域論	1	講義	望月 迪洋	非常勤講師	080Q0044	99	03	A
コア	地誌学概説B	2	講義	堀 健彦	人社・教育系（人）	080H3050	33	03	
コア	農村計画	2	講義	有田 博之	自然科学系（農）	080A3507	65	03	A
コア	環境地質学A	2	講義	下部 厚志・他	災害復興科学センター	080S5038	44	04	A
コア	環境地質学B	2	講義	渡部 直喜	災害復興科学センター	080S5039	44	03	
コア	新潟学—地域編—	2	講義	池田 哲夫	人社・教育系（人）	080G3213	75	03	A
コア	新潟学—ファッション編—	4	講義	加藤 かおり	大学教育開発研究センター	080G3710	74,75	03	
コア	新潟大学が育んだ私の世界・私の夢	2	講義	栗原 隆	人社・教育系（人）	080G3711	74,75	03	
コア	比較地域社会学	2	講義	佐藤 康行	人社・教育系（人）	080G3207	75	03	
コア	水を巡る農の旅	2	講義	福山 利範	自然科学系（農）	080G3214	75	03	
コア	地域社会文化入門	2	講義	池田 哲夫・他	人社・教育系（人）	080H3007	31	03	
コア	地域から文化を考える	2	講義	芳井 研一	人社・教育系（人）	080G3215	75	03	
コア	都市計画学I	2	講義	岡崎 篤行	自然科学系（工）	080T6046	53	03	
コア	新潟の農業	2	講義	新美 芳二	自然科学系（農）	080A1153	60	04	
コア	地域に生きる思想	2	講義	栗原 隆	人社・教育系（人）	080G3212	74,75	03	
コア	地域を探る	2	講義	矢田 俊文	人社・教育系（人）	080G3707	75	03	
関連	文化財と歴史から見た新潟地域	2	講義	原 直史	人社・教育系（院現社）	080G3709	75	01	
関連	コメ産業論	2	講義	青柳 斉	自然科学系（農）	080G3208	75	03	
関連	災害復興科学	2	講義	下部 厚志	災害復興科学センター	080G3202	75	03	
関連	まちづくりと法律	2	講義	寺尾 仁	自然科学系（工）	080k7106	34	04	
関連	新潟から考える雪の科学と文化	2	講義	和泉 薫	災害復興科学センター	080G3216	75	03	
関連	越後平野の成り立ちと生活	2	講義	立石 雅昭	自然科学系（理）	080G3708	75	03	
関連	地域からの世界史	2	講義	関尾 史郎	人社・教育系（人）	080G3204	75	03	
関連	日本史概説A	2	講義	中林 隆之	人社・教育系（人）	080H3042	31	03	
関連	地域から見た近世越後像	2	講義	杉本 耕一	非常勤講師	080G3201	75	01	
関連	比較地域社会学	2	講義	佐藤 康行	人社・教育系（人）	080G3207	75	03	
関連	新潟の地質・災害をさぐる	2	講義	下部 厚志	災害復興科学センター	080G3701	75	03	
関連	地域社会のリアクション	2	講義	渡邊 登	人社・教育系（人）	080G7015	38	03	
関連	日本史概説B	2	講義	矢田 俊文	人社・教育系（人）	080H3043	31	03	

備考：Rは「必修科目」、Aは「選択必修科目」を表す。

平成20年度 分野別副専攻

■テーマの名称「法律学」

副専攻の概要 変革が進む日本の社会にあって、これからは公正・公平で透明なルールによって規律される自由競争・自己責任の時代であるともいわれています。それはまさに法的な見方・考え方がより重要となる時代の到来を意味するものといえます。また、いたるところで多様な紛争、社会問題が絶えず発生しています。その処理、解決、予防を任務とする法律、法律学の機能と課題を、公法、民事法、刑事法及びその他の法律学分野の全般にわたる授業の履修を通じて理解してもらいます。

副専攻のねらい 法制度の概要を理解し、法律の条文に親しむ。

副専攻の到達目標

1. 法学の基本的概念や問題点を理解し、分析することができる。
2. 具体的事例に応じて、その事例における問題点や法的解決の可能性を指摘できる。

副専攻委員会委員

- 田村 秀 (法学部学務委員)
- ・塚田 千根 (法学部学務委員)
- ・山田 剛志 (法学部学務委員)

認定条件及び評価の方法

【各テーマ共通の認定条件】

- ・本副専攻プログラムが定めた授業科目から24単位以上を修得していること。
- ・卒業時の総修得単位数が、所属する学部卒業要件単位数に12単位以上を加えたものであること。
- ・卒業時のGPAが2.5以上であること。
- ・当該学生が所属する主専攻課程(学科)に関わる科目のうち、副専攻科目として認定する単位は最大6単位とする。

【各テーマ独自の認定条件等】

- ・コア科目から必修科目を含む12単位以上の単位取得が必要である。
- ・R1科目のうち、1科目(2単位)を修得すること(選択必修)。
- ・R2科目のすべて(6単位)を修得すること(必修科目)。
- ・表中の「法学担当教員」とは、表中に掲載された「法」又は「院実法」の教員を指す。
- ・コア科目のうち、A科目から1科目(2単位)を必ず修得すること(選択必修)。
- ・コア科目のうち、B科目から2科目(4単位)を必ず修得すること(選択必修)。
- ・コア科目のうち、C科目から1科目(2単位)を必ず修得すること(選択必修)。
- ・法学部学生を除く。

分類	授業科目名	単位	形式	授業担当者	所属	講義番号	分野	水準	備考
コア	リーガルシステムA	2	講義	國谷知史	人社・教育系(院実法)	080G7052	34	03	R1
コア	リーガルシステムB	2	講義	田村秀・他	人社・教育系(法及び院実法)	080H7053	34	03	R1
コア	法政演習	2	演習	法学担当教員	人社・教育系(法又は院実法)		34	14	R2
コア	卒業研究Ⅰ	2	演習	法学担当教員	人社・教育系(法又は院実法)		34	15	R2
コア	卒業研究Ⅱ	2	演習	法学担当教員	人社・教育系(法又は院実法)		34	15	R2
コア	憲法基礎Ⅰ	2	講義	成嶋 隆	人社・教育系(院実法)	080L1017	34	03	A
コア	憲法基礎Ⅱ	2	講義	大河内 美紀	人社・教育系(法)	080L1018	34	03	A
コア	行政法総論	2	講義	下井 康史	人社・教育系(院実法)	080L1019	34	03	
コア	行政救済法	2	講義	下井 康史	人社・教育系(院実法)	080L0020	34	04	
コア	民事法基礎Ⅰ	2	講義	石畠 剛士	人社・教育系(法)	080L1001	34	03	B
コア	民事法基礎Ⅱ	2	講義	石畠 剛士	人社・教育系(法)	080L1002	34	03	B
コア	民事法基礎Ⅲ	2	講義	神戸 秀彦	人社・教育系(院)	080L1003	34	03	B
コア	民事法基礎Ⅳ	2	講義	神戸 秀彦	人社・教育系(法)	080L1004	34	03	B
コア	企業法Ⅰ	2	講義	山田 剛志	人社・教育系(法)	080L1005	34	04	
コア	企業法Ⅱ	2	講義	未定	人社・教育系(法)	080L1006	34	04	
コア	刑事法基礎Ⅰ	2	講義	五十嵐 さおり	人社・教育系(法)	080L1009	34	03	C
コア	刑事法基礎Ⅱ	2	講義	五十嵐 さおり	人社・教育系(法)	080L1010	34	03	C
コア	裁判法基礎	2	講義	五十嵐 さおり	人社・教育系(法)	080L1007	34	03	C
関連	自治体法	2	講義	南 真二	人社・教育系(法)	080L0021	34	04	
関連	自治体政策論	2	講義	南 真二	人社・教育系(法)	080L0022	34,35	04	
関連	税法Ⅰ	2	講義	駒宮 史博	人社・教育系(院実法)	080L0023	34	04	
関連	税法Ⅱ	2	講義	駒宮 史博	人社・教育系(院実法)	080L0024	34	04	
関連	紛争処理論	2	講義	水谷 暢	人社・教育系(院現社)	080L0068	34	04	
関連	国際法概論	2	講義	山崎 公士	人社・教育系(院実法)	080L0038	34	03	
関連	国際人権法	2	講義	山崎 公士	人社・教育系(院実法)	080L0039	34	04	
関連	国際刑事法	2	講義	熊谷 卓	非常勤講師	080L0078	34	04	
関連	国際政治史	2	講義	黒田 俊郎	非常勤講師	080L0035	35	03	
関連	労働団体会法	2	講義	木南 直之	人社・教育系(法)	080L1011	34	04	
関連	労働保護法	2	講義	木南 直之	人社・教育系(法)	080L1012	34	04	
関連	医療保障法	2	講義	加藤 智章	人社・教育系(院実法)	080L0025	34	04	
関連	社会保障法	2	講義	加藤 智章	人社・教育系(院実法)	080L0026	34	04	
関連	独占禁止法	2	講義	澤田 克己	人社・教育系(院実法)	080L1013	34	04	
関連	法情報学	2	講義	鈴木 正朝	人社・教育系(院実法)	080L1062	34	04	
関連	知的財産法	2	講義	渡邊 修	人社・教育系(院実法)	080L1015	34	04	
関連	特殊講義(法医学Ⅰ)	2	講義	山内 春男	医歯学系	080L1063	34	04	
関連	特殊講義(法医学Ⅱ)	2	講義	山内 春男	医歯学系	080L1064	34	04	
関連	ジェンダー論	2	講義	兵藤守男・他	人社・教育系(法、院実法等)	080L1065	34,35	03	
関連	比較法	2	講義	松本 英美	人社・教育系(院実法)	080L1043	34	04	
関連	法社会学	2	講義	南方 暁	人社・教育系(院実法)	080L0053	34	03	
関連	日本法史	2	講義	齋川 真	非常勤講師	080L6044	34	04	
関連	外国研究基礎	2	講義	皆川 泰雄・他	人社・教育系(法及び院実法)	080L1060	34,35	03	
関連	政治学基礎	2	講義	谷 喬夫	人社・教育系(院現社)	080L1027	35	03	

備考：R1は「法学一般の基礎を養うための必修科目」、R2は「専攻領域ごとに法学の応用力を養うための必修科目」、Aは「公法系の基礎科目」、Bは「民事法系の基礎科目」、Cは「刑事法系の基礎科目」を表す。

平成20年度 分野別副専攻

■テーマの名称「政治学」

副専攻の概要	政治現象は多様性・多面性を持つため、理解しづらい側面があるが、政治現象は私たちの生き方と否応なく深く関わっている。従って、政治現象を総合的に理解し、また批判的にみる眼を養うことが重要であり、本副専攻はそのための能力を養うことを目的とする。
--------	---

副専攻のねらい	政治学に関連する新聞記事に親しむと同時に、その問題点などを把握することができる。
---------	--

副専攻の到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 政治学の基本的概念や問題を理解する視点が習得できる。 2. 政治現象を批判的に分析できる。 3. 時代や地域に固有な政治現象を理解できる。 	副専攻委員会委員	○田村 秀 <small>(法学部学務委員長)</small> ・塚田 千根 <small>(法学部学務委員)</small> ・山田 剛志 <small>(法学部学務委員)</small>
----------	--	----------	--

認定条件及び評価の方法	<p>【各テーマ共通の認定条件】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本副専攻プログラムが定めた授業科目から24単位以上を修得していること。 ・卒業時の総修得単位数が、所属する学部の卒業要件単位数に12単位以上を加えたものであること。 ・卒業時のGPAが2.5以上であること。 ・当該学生が所属する主専攻課程(学科)に関わる科目のうち、副専攻科目として認定する単位は最大6単位とする。 <p>【各テーマ独自の認定条件等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コア科目から必修科目を含む12単位以上の単位取得が必要である。 ・R1科目のうち、1科目(2単位)を修得すること(選択必修)。 ・R2科目のすべて(6単位)を修得すること(必修科目)。 ・表中の「政治学担当教員」とは、表中に掲載された「法」又は「院実法」の教員を指す。 ・コア科目と関連科目から24単位以上の単位を修得すること。 ・コア科目のうち、A科目から4科目(8単位)以上を、B科目から2科目(4単位)以上の単位を修得すること(選択必修)。 ・法学部学生を除く。
-------------	--

分類	授業科目名	単位	形式	授業担当者	所属	講義番号	分野	水準	備考
コア	リーガルシステムA	2	講義	國谷 知史	人社・教育系(院実法)	080G7052	34	03	R1
コア	リーガルシステムB	2	講義	田村 秀・他	人社・教育系(法及び院実法)	080G7053	34	03	R1
コア	法政演習	2	演習	政治学担当教員	人社・教育系(法又は院実法)		35	14	R2
コア	卒業研究Ⅰ	2	演習	政治学担当教員	人社・教育系(法又は院実法)		34	15	R2
コア	卒業研究Ⅱ	2	演習	政治学担当教員	人社・教育系(法又は院実法)		34	15	R2
コア	政治学基礎	2	講義	谷 喬夫	人社・教育系(院現社)	080L1027	35	03	A
コア	政治学	2	講義	兵藤 守男	人社・教育系(法)	080L1028	35	03	A
コア	特殊講義(西洋政治思想史)	2	講義	谷 喬夫	人社・教育系(院現社)	080L1062	35	03	B
コア	特殊講義(東アジア国際政治史)	2	講義	真水 康樹	人社・教育系(法)	080L0112	35	13	B
コア	西欧政治史Ⅰ	2	講義	宮内 俊至	人社・教育系(法)	080L1049	35	03	B
コア	西欧政治史Ⅱ	2	講義	皆川 泰雄	人社・教育系(法)	080L1050	35	03	B
コア	政治社会学	2	講義	真水 康樹	人社・教育系(法)	080L0052	35	03	B
コア	政治過程論	2	講義	田中 拓道	人社・教育系(法)	080L0029	35	04	A
コア	政策科学概論	2	講義	田村 秀	人社・教育系(院実法)	080L0037	35	03	A
コア	行政学総論	2	講義	田村 秀	人社・教育系(院実法)	080L0030	35	03	A
コア	行政学各論	2	講義	馬場 健	人社・教育系(院実法)	080L0031	35	03	A
コア	公共政策	2	講義	田中 伸至	人社・教育系(法)	080L1033	35	04	B
コア	都市政策論	2	講義	未定	人社・教育系(法)	080L0032	35	04	B
関連	自治体政策論	2	講義	南 真二	人社・教育系(法)	080L0022	34,35	04	
関連	外国研究基礎	2	講義	皆川 泰雄・他	人社・教育系(法及び院実法)	080L1060	34,35	03	
関連	マス・メディア論	2	講義	吉田 和比古	人社・教育系(法)	080L1054	35,38	03	
関連	ジェンダー論	2	講義	兵藤 守男・他	人社・教育系(法、院実法等)	080L0055	34,35	03	
関連	中国政治入門	2	講義	未定	人社・教育系(法)	080L1057	35	03	

備考：R1は「政治学一般の基礎を養うための必修科目」、R2は「専攻領域ごとに政治学の応用力を養うための必修科目」
 Aは「政治学系の基礎科目」、Bは「政治学系の応用科目」を表す。

平成20年度 分野別副専攻

■テーマの名称「経済学」

副専攻の概要 人類は、生誕と共に、生産と消費を中心とする経済活動をつづけてきた。人間生活の物的基礎をなすこの経済活動は、この間たんに高度化してきてだけではない。その社会的あり方は、量的な変化を伴いながら構造的に、また国や地域ごとに個性を持って段階的に発展してきた。副専攻「経済学」では、このような経済について、その理論・歴史・政策・現状を体系的に学ぶことができる。

副専攻のねらい 人間は、1人では生きてゆけない。ゆえに、相互に認め合い、助け合う関係が不可欠である。この副専攻科目では、そうした社会的人間関係を経済の領域から分析し、自己の社会的位置を明らかにすることを課題としている。

副専攻の到達目標

1. 経済学的考え方が説明できる。
2. 経済学の分析手法を利用できる。
3. 現代社会の課題を発見し、問題を経済学的に解明することができる。

副専攻委員会委員
○齋藤 忠雄
・伊藤 隆康
・山崎 剛志

認定条件及び評価の方法

【各テーマ共通の認定条件】

- ・本副専攻プログラムが定めた授業科目から24単位以上を修得していること。
- ・卒業時の総修得単位数が、所属する学部の卒業要件単位数に12単位以上を加えたものであること。
- ・卒業時のGPAが2.5以上であること。
- ・当該学生が所属する主専攻課程（学科）に関わる科目のうち、副専攻科目として認定する単位は最大6単位とする。

【各テーマ独自の認定条件等】

- ・コア科目から必修科目を含む12単位以上の単位取得が必要である。
- ・コア科目と関連科目から24単位以上の単位取得を副専攻認定の基本条件とする。
- ・形式欄に演習とある科目は年度初めに選考を行う。また、人数等により、聴講できないこともある。
- ・経済学部学生を除く。
- ・最終的な評価は、基礎的な「経済理論または経済の現状」に関するレポートによっておこなう。

分類	授業科目名	単位	形式	授業担当者	所属	講義番号	分野	水準	備考
コア	経済学への招待	1	演習	齋藤 忠雄・他	人社・教育系(経)	080Q9036	36	03	R
コア	入門社会経済学	2	講義	菅原 陽心	人社・教育系(経)	080E1015	36	03	
コア	入門ミクロ経済学	2	講義	山崎 剛志	人社・教育系(経)	080E1020	36	03	
コア	入門マクロ経済学	2	講義	伊藤 隆康	人社・教育系(経)	080E1018	36	03	
コア	経済数学	2	講義	高宮 浩司	人社・教育系(経)	080E1022	41	03	
コア	統計入門	4	講義	北條 雅一	人社・教育系(経)	080E1007	41	03	
コア	情報処理概論Ⅰ	2	講義	永井 雅人	人社・教育系(経)	080E1008	10	03	
コア	情報処理概論Ⅱ	2	講義	永井 雅人	人社・教育系(経)	080E1009	10	03	
コア	経済学史Ⅰ	2	講義	出雲 雅志	非常勤講師	080E1010	36	03	
コア	経済学史Ⅱ	2	講義	上久保 敏	非常勤講師	080E1011	36	03	
コア	経営学入門	4	講義	永山 庸男	人社・教育系(院技経)	080E4003	37	03	
コア	経営学基礎	4	講義	永山 庸男	人社・教育系(院技経)	080E4003	37	03	
コア	会計入門	2	講義	山口 直也	人社・教育系(経)	080E3600	37	03	
関連	経済政策論Ⅰ	2	講義	芳賀 健一	人社・教育系(経)	080E1100	36	04	
関連	経済政策論Ⅱ	2	講義	芳賀 健一	人社・教育系(経)	080E1101	36	04	
関連	国際貿易論Ⅰ	2	講義	内藤 雅一	人社・教育系(経)	080E1121	36	04	
関連	国際貿易論Ⅱ	2	講義	内藤 雅一	人社・教育系(経)	080E1122	36	04	
関連	財政学Ⅱ	2	講義	齋藤 忠雄	人社・教育系(経)	080E1107	36	04	
関連	経済学特殊講義	2	講義	川出 真清	人社・教育系(経)	080E1110	36	04	
関連	金融論Ⅰ	2	講義	伊藤 隆康	人社・教育系(経)	080E1200	36	04	
関連	金融論Ⅱ	2	講義	伊藤 隆康	人社・教育系(経)	080E1201	36	04	
関連	マクロ経済学Ⅰ	2	講義	山崎 剛志	人社・教育系(経)	080E1019	36	04	
関連	ミクロ経済学Ⅰ	2	講義	長谷川 雪子	人社・教育系(経)	080E1021	36	04	
関連	ミクロ経済学Ⅱ	2	講義	長谷川 雪子	人社・教育系(経)	080E1219	36	04	
関連	数理経済学(ゲーム理論)	2	講義	高宮 浩司	人社・教育系(経)	080E1218	36	04	
関連	計量経済学Ⅰ	2	講義	川出 真清	人社・教育系(経)	080E1222	36	04	
関連	計量経済学Ⅱ	2	講義	川出 真清	人社・教育系(経)	080E1223	36	04	
関連	環境経済システム論Ⅰ	2	講義	藤堂 史明	人社・教育系(院現社)	080E1212	36	04	
関連	労働経済学Ⅰ	2	講義	北條 雅一	人社・教育系(経)	080E1220	36	04	
関連	労働経済学Ⅱ	2	講義	北條 雅一	人社・教育系(経)	080E1221	36	04	
関連	産業組織論Ⅰ	2	講義	芹澤 伸子	人社・教育系(経)	080E1215	36	04	
関連	産業組織論Ⅱ	2	講義	芹澤 伸子	人社・教育系(経)	080E1216	36	04	
関連	社会経済学原理Ⅰ	2	講義	菅原 陽心	人社・教育系(経)	080E1012	36	04	
関連	世界経済史Ⅰ	2	講義	佐藤 芳行	人社・教育系(経)	080E1503	36	04	
関連	世界経済史Ⅱ	2	講義	佐藤 芳行	人社・教育系(経)	080E1504	36	04	
関連	日本経済史	2	講義	藤井 隆至	人社・教育系(院現社)	080E1505	36	04	
関連	アメリカ経済論Ⅰ	2	講義	大森 拓磨	人社・教育系(経)	080E1525	36	04	
関連	アメリカ経済論Ⅱ	2	講義	大森 拓磨	人社・教育系(経)	080E1526	36	04	
関連	EU経済論	2	講義	廣田 功	人社・教育系(経)	080E1507	36	04	
関連	比較経済体制論	2	講義	小山 洋司	人社・教育系(経)	080E1528	36	04	
関連	アジア経済論Ⅰ	2	講義	溝口 由己	人社・教育系(経)	080E1510	36	04	
関連	アジア経済論Ⅱ	2	講義	溝口 由己	人社・教育系(経)	080E1511	36	04	
関連	市場と組織の理論	2	講義	大屋 靖成	人社・教育系(経)	080E1514	36	04	
関連	異文化論	2	講義	辻 照彦	人社・教育系(経)	080E1518	33	04	
関連	異文化論	2	講義	恩田 公夫	人社・教育系(経)	080E1516	33	04	
関連	異文化論	2	講義	朱 継征	人社・教育系(経)	080E1519	33	04	
関連	演習ⅠA	2	講義	伊藤 隆康	人社・教育系(経)	080E2001	36	13	
関連	演習ⅠB	2	講義	伊藤 隆康	人社・教育系(経)	080E2021	36	13	
関連	演習ⅠA	2	講義	齋藤 忠雄	人社・教育系(経)	080E2002	36	13	
関連	演習ⅠB	2	講義	齋藤 忠雄	人社・教育系(経)	080E2022	36	13	
関連	演習ⅠA	2	講義	藤井 隆至	人社・教育系(院現社)	080E2010	36	13	
関連	演習ⅠB	2	講義	藤井 隆至	人社・教育系(院現社)	080E2030	36	13	
関連	演習ⅠA	2	講義	溝口 由己	人社・教育系(経)	080E2016	36	13	
関連	演習ⅠB	2	講義	溝口 由己	人社・教育系(経)	080E2036	36	13	
関連	演習ⅠA	2	講義	山崎 剛志	人社・教育系(経)	080E2017	36	13	
関連	演習ⅠB	2	講義	山崎 剛志	人社・教育系(経)	080E2037	36	13	
関連	演習ⅡA	2	講義	伊藤 隆康	人社・教育系(経)	080E2041	36	14	
関連	演習ⅡB	2	講義	伊藤 隆康	人社・教育系(経)	080E2061	36	14	
関連	演習ⅡA	2	講義	齋藤 忠雄	人社・教育系(経)	080E2043	36	14	
関連	演習ⅡB	2	講義	齋藤 忠雄	人社・教育系(経)	080E2063	36	14	
関連	演習ⅡA	2	講義	藤井 隆至	人社・教育系(経)	080E2049	36	14	
関連	演習ⅡB	2	講義	藤井 隆至	人社・教育系(経)	080E2069	36	14	
関連	演習ⅡA	2	講義	溝口 由己	人社・教育系(経)	080E2055	36	14	
関連	演習ⅡB	2	講義	溝口 由己	人社・教育系(経)	080E2075	36	14	
関連	演習ⅡA	2	講義	山崎 剛志	人社・教育系(経)	080E2056	36	14	
関連	演習ⅡB	2	講義	山崎 剛志	人社・教育系(経)	080E2076	36	14	

備考：Rは「必修科目」を表す。

平成20年度 分野別副専攻

■テーマの名称「会計学」

副専攻の概要 本副専攻は、簿記会計のスキルの習得に関心のある学生に対し、会計学科目を提供する。具体的には、日本商工会議所の検定簿記試験の分野をカバーする科目を配置し、勉学意欲のある学生に対する学習の場を提供するもので、経営学科の会計学分野をコアとして科目を開放する。講師陣として、会計学の専任教員のほか、現職の公認会計士、税理士、専門学校専任講師が担当することも本副専攻の大きな特徴である。

副専攻のねらい 本専攻での学習を通じて、企業が投資家や株主・債権者といった外部の利害関係者に提出する財務情報（有価証券報告書、決算短信、アナニュアルレポートなど）の性質を理解するとともに、簿記・会計に関する講義を段階的に受講することによって、企業会計にとって不可欠なスキルであるが、会計基準の複雑化に伴い、一層難しくなっている簿記・会計を段階的に理解することができる。

<p>副専攻の到達目標</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 企業が公表する財務情報に記載されている情報の内容を理解できる。 2. 新聞紙上で公表される会計関連記事の内容を理解し、その意味を説明することができる。 3. 経理関連書類の読み取りができ、取引先企業の経営状況を数字から把握できるようになる。 4. 最低限、日本商工会議所の検定簿記試験2級程度の簿記を修得する。 5. 日本商工会議所の検定簿記試験1級の商業簿記・会計学及び、公認会計士試験の財務会計論、税理士試験の簿記論・財務会計論について、合格水準に達する上で不可欠な簿記・財務会計の知識を修得する。 	<p>副専攻委員会委員</p> <p>○木下 勝一 柳 喜重郎 李 健泳 山口 直也</p>
---	---

認定条件及び評価の方法

【各テーマ共通の認定条件】

- ・本副専攻プログラムが定めた授業科目から24単位以上を修得していること。
- ・卒業時の総修得単位数が、所属する学部の卒業要件単位数に12単位以上を加えたものであること。
- ・卒業時のGPAが2.5以上であること。
- ・当該学生が所属する主専攻課程（学科）に関わる科目のうち、副専攻科目として認定する単位は最大6単位とする。

【各テーマ独自の認定条件等】

- ・コア科目から必修科目を含む12単位以上の単位取得が必要である。
- ・経済学部生を除く。

分類	授業科目名	単位	形式	授業担当者	所属	講義番号	分野	水準	備考
コア	簿記会計入門	1	講義	木下 勝一	人社・教育系(院現社)	080Q9037	37	03	R
コア	テクニカル・ヴィジット	2	演習	山口 直也	人社・教育系(経)	080Q0054	37	04	
コア	簿記原理	2	講義	李 健泳	人社・教育系(経)	080E1023	37	04	
コア	会計入門	2	講義	山口 直也	人社・教育系(経)	080E3600	37	03	
コア	商業簿記A	4	講義	加井 久雄	人社・教育系(経)	080E3402	37	04	
コア	財務会計論Ⅰ	2	講義	木下 勝一	人社・教育系(院現社)	080E3403	37	04	
コア	財務会計論Ⅱ	2	講義	木下 勝一	人社・教育系(院現社)	080E3404	37	04	
コア	原価計算論Ⅰ	2	講義	有元 知史	人社・教育系(経)	080E3613	37	04	
コア	原価計算論Ⅱ	2	講義	有元 知史	人社・教育系(経)	080E3614	37	04	
コア	検定簿記Ⅰ	2	講義	高橋 淑浩	非常勤講師	080E3601	37	04	
コア	検定簿記Ⅱ	2	講義	高橋 淑浩	非常勤講師	080E3602	37	04	
コア	中級簿記	2	講義	高橋 淑浩	非常勤講師	080E3603	37	04	
コア	A/C演習	2	演習	李 健泳	人社・教育系(経)	080E3503	37	03	
関連	中級財務会計論Ⅰ	2	講義	柳 喜重郎	人社・教育系(経)	080E3604	37	04	
関連	中級財務会計論Ⅱ	2	講義	加井 久雄	人社・教育系(経)	080E3605	37	04	
関連	連結会計論Ⅰ	2	講義	神納 樹夫	人社・教育系(経)	080E3640	37	04	
関連	連結会計論Ⅱ	2	講義	神納 樹夫	人社・教育系(経)	080E3641	37	04	
関連	会計情報論	2	講義	柳 喜重郎	人社・教育系(経)	080E3607	37	04	
関連	国際会計論	2	講義	加井 久雄	人社・教育系(経)	080E3608	37	04	
関連	会計監査論Ⅰ	2	講義	山崎 真	非常勤講師	080E3609	37	04	
関連	工業簿記Ⅰ	2	講義	高橋 信太	非常勤講師	080E3638	37	04	
関連	工業簿記Ⅱ	2	講義	高橋 信太	非常勤講師	080E3639	37	04	
関連	管理会計論Ⅰ	2	講義	山口 直也	人社・教育系(経)	080E3615	37	04	
関連	管理会計論Ⅱ	2	講義	山口 直也	人社・教育系(経)	080E3616	37	04	
関連	業績管理会計論Ⅰ	2	講義	李 健泳	人社・教育系(経)	080E3634	37	04	
関連	業績管理会計論Ⅱ	2	講義	李 健泳	人社・教育系(経)	080E3635	37	04	
関連	租税理論Ⅰ	2	講義	藤巻 一男	人社・教育系(経)	080E3636	37	04	
関連	租税理論Ⅱ	2	講義	藤巻 一男	人社・教育系(経)	080E3637	37	04	
関連	税務会計論Ⅰ	2	講義	木下 勝一	人社・教育系(院現社)	080E3620	37	04	
関連	税務会計論Ⅱ	2	講義	木下 勝一	人社・教育系(院現社)	080E3621	37	04	

備考：Rは「必修科目」を表す。

平成20年度 分野別副専攻

■テーマの名称「電子・情報科学」

副専攻の概要	私たちの暮らしは、多くの電気電子情報機器・システムによって支えられており、それらの光の部分として多くの利便性を受けている。その一方で、それらへの「過度の依存」や「過信」、さらには「拒絶反応」という影の部分も生じているため、それらの背後にある「科学技術」を正しく理解しておく必要がある。そこで本副専攻では、特に「電気・電子工学」、「情報工学」、「数理科学」に焦点を絞り、具体的な機器・システムと、その基礎となる物理・化学現象、数理モデルについて理解を深めるためのプログラムを提供する。		
副専攻のねらい	電気・電子工学、情報工学、数理科学の各分野の基礎知識を習得し、身近にある電気電子情報機器・システムの動作原理と特性について理解する。さらに、動作原理の基礎となっている物理・化学現象や様々な数理モデルについても理解を深め、機器・システムは「人間がその叡智によって自然現象を巧みに利用して作り上げたもの」であることを正しく理解する。		
副専攻の到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 抵抗、コンデンサ、コイルの電気的特性及びこれらの特性を利用した電気電子デバイス・装置の具体例について説明できる。 2. 温度計測のうち電気電子による方法について理解し、これの応用による環境制御技術について概要を説明できる。 3. フーリエ解析の観点から、周波数領域における信号の分析・合成法について概要を説明できる。 4. 暗号・符号などの具体的事例を基に、数理的デジタル処理の利点と応用について説明できる。 5. コンピュータとソフトウェアに関する基礎的な用語や概念を用い、情報処理システムの具体例について説明できる。 	副専攻委員会委員	○佐々木修己 ・三村 宣治 ・竹内 照雄 ・中野 和弘
認定条件及び評価の方法	<p>【各テーマ共通の認定条件】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本副専攻プログラムが定めた授業科目から24単位以上を修得していること。 ・卒業時の総修得単位数が、所属する学部の卒業要件単位数に12単位以上を加えたものであること。 ・卒業時のGPAが2.5以上であること。 ・当該学生が所属する主専攻課程（学科）に関わる科目のうち、副専攻科目として認定する単位は最大6単位とする。 <p>【各テーマ独自の認定条件等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・当該学生が所属する学部に関わる科目のうち、副専攻科目として認定する単位は最大12単位とする。 ・コア科目から必修科目を含む12単位以上の単位取得が必要である。 ・コア科目からは、必修科目1単位、およびA科目とB科目からそれぞれ4単位以上（合計9単位以上）を取得すること。 ・上記の単位取得条件を満たした場合に本副専攻の到達目標を達成したと認める。 ・必修科目「電子・情報科学」入門は、最初に履修することが望ましい。 <p>*工学部福祉人間工学科の学生は、C1とC2の科目を聴講できない。工学部電気電子工学科・情報工学科の学生は、C2の科目を聴講できない。同一科目名の授業を複数聴講できない。</p>		

分類	授業科目名	単位	形式	授業担当者	所属	講義番号	分野	水準	備考
コア	電子・情報科学入門	1	演習	佐々木 修己・他	自然科学系 (工)	080Q9039	99	03	R
コア	くらしと数理	2	講義	泉池 敬司	自然科学系 (理)	080G6002	41	03	A
コア	エレクトロニクスへの招待	2	講義	小椋 一夫	自然科学系 (工)	080G6042	51	03	A
コア	コンピュータへの招待	2	講義	仙石 正和	自然科学系 (工)	080G6038	10	03	A
コア	高福祉社会を支える「生活支援工学」入門	2	講義	林 豊彦	自然科学系 (工)	080G6039	56	03	A
コア	農業ネットワークサービス論	2	講義	町田 武美	非常勤講師	080A3405	65	04	A
コア	計算機概論	2	講義	竹内 照雄	自然科学系 (理)	080S1008	10	03	B
コア	エレクトロニクス入門	2	講義	加藤 景三	自然科学系 (院自然)	080G6043	51	03	B
コア	法と情報社会	2	講義	今年度開講せず			10,28	04	B
コア	科学技術者の倫理	2	講義	丸山 武男	非常勤講師	080G6046	51	13	B
コア	技術者倫理	2	講義	箕口 秀夫	自然科学系 (院自然)	080A3305	62,65	14	B
関連	情報基礎数学Ⅰ	2	講義	吉原 久夫	自然科学系 (理)	080S1015	41	04	C
関連	情報基礎数学Ⅱ	2	講義	秋山 茂樹	自然科学系 (理)	080S1016	41	04	C
関連	情報管理学	2	講義	蛭川 潤一	自然科学系 (理)	080S1038	10	04	C
関連	情報統計学	2	講義	蛭川 潤一	自然科学系 (理)	080S1039	41	04	C
関連	情報社会論	2	講義	竹内 照雄	自然科学系 (理)	080S1010	10	03	C
関連	プログラミング概論	2	講義	竹内 照雄	自然科学系 (理)	080S1011	10	03	C
関連	電気回路Ⅰ	2	講義	菅原 晃	自然科学系 (工)	080T2037	51	04	C
関連	電磁気学Ⅰ	2	講義	清水 英彦	自然科学系 (工)	080T2045	51	04	C
関連	データベース	2	講義	青山 茂義	総合情報処理センター	080T3028	10	04	C
関連	自然言語処理	2	講義	宮崎 正弘	自然科学系 (工)	080T3031	10	04	C
関連	支援機器工学	2	講義	木竜 徹・他	自然科学系 (院自然)	080T4025	56	24	C
関連	支援情報工学	2	講義	宮川 道夫	自然科学系 (工)	080T4026	56	24	C
関連	メカトロニクス	2	講義	大橋 修	自然科学系 (工)	080T1048	50	04	C1*
関連	ロボット工学	2	講義	大矢 誠	自然科学系 (工)	080T1049	50	04	C1*
関連	システム制御Ⅰ	2	講義	横山 誠	自然科学系 (工)	080T1050	50	04	C2*
関連	基礎電磁気学	2	講義	佐々木 進	自然科学系 (工)	080T7005	54	04	C2*
関連	電磁気学応用・演習	2	講義	未定	自然科学系 (工)	080T7017	54	04	C2*
関連	電気回路基礎論	2	講義	坪井 望	自然科学系 (工)	080T7009	54	04	C2*
関連	計測工学	2	講義	村山 実	非常勤講師	080T7034	54	04	C2*
関連	水と食の環境論	2	講義	中野 和弘・他	自然科学系 (院自然)	080A3005	65	03	C
関連	農業機械システム学	4	講義	中野 和弘	自然科学系 (院自然)	080A3403	65	03	C
関連	農業プロセス工学	2	講義	中野 和弘	自然科学系 (院自然)	080A3406	65	04	C
関連	知識情報工学概論	2	講義	星 岳彦	非常勤講師	080A3407	65	04	C
関連	農業機械設計・製図 (Ⅰ)	2	講義	未定	未定	080A3408	65	14	C
関連	農業機械設計・製図 (Ⅱ)	2	講義	未定	未定	080A3412	65	14	C
関連	農業施設システム論	2	講義	北村 豊	非常勤講師	080A3409	65	04	C

備考：Rは「必修科目」、Aは「初級コア科目」、Bは「中級コア科目」、Cは「関連科目」、C1は「関連科目1」、C2は「関連科目2」を表す。

平成20年度 分野別副専攻

■テーマの名称「統合化学」

副専攻の概要 世の中のものすべて「物質」から出来ており、「物質」の科学である「化学」はあらゆる自然科学の基礎とすることが出来る。しかも「化学」は地球環境・エネルギー繊維、プラスチック、セラミックスなどのあらゆる化学製品、食品、医薬品のみならず電気、通信、情報、自動車などありとあらゆる工業製品の製造に重要である。そこで本副専攻では化学を自然科学として広くとらえることのできる専攻を提供する。

副専攻のねらい 所属部局で学ぶ「化学」を基礎とし、その他の多方面の「化学」に触れることにより、「化学」という学問をより発展的に理解し、応用することを習得する。また、「化学」の社会における役割を総合的に理解する。

副専攻の到達目標

1. 「化学」という学問を構成する各分野の基礎を学び、基礎的問題が解ける。
2. 「化学」の応用面を多方面の視点から学び、幾つかの分野の応用的問題が解ける。
3. 「化学」の社会における役割を考察し、説明できる。

副専攻委員会委員 ○萩原 久大
・徳江 郁雄
・堀 秀隆

認定条件及び評価の方法

【各テーマ共通の認定条件】

- ・本副専攻プログラムが定めた授業科目から24単位以上を修得していること。
- ・卒業時の総修得単位数が、所属する学部卒業要件単位数に12単位以上を加えたものであること。
- ・卒業時のGPAが2.5以上であること。
- ・当該学生が所属する主専攻課程（学科）に関わる科目のうち、副専攻科目として認定する単位は最大6単位とする。

【各テーマ独自の認定条件等】

- ・コア科目から10単位以上、関連科目から10単位以上を取得すること。

分類	授業科目名	単位	形式	授業担当者	所属	講義番号	分野	水準	備考
コア	統合化学入門	1	講義	萩原 久大	自然科学系(工)	080Q9040	99	03	R
コア	化学基礎A	2	講義	徳江 郁雄	自然科学系(理)	080G5020	46	03	
コア	化学基礎A	2	講義	島倉 紀之	自然科学系(理)	080G5021	46	03	
コア	化学基礎A	2	講義	工藤久昭	自然科学系(理)	080G5019	46	03	
コア	化学基礎A	2	講義	島倉紀之	自然科学系(理)	080G5514	46	03	
コア	化学基礎B	2	講義	澤田 清	自然科学系(院自然)	080G5023	46	03	
コア	化学基礎B	2	講義	湯川 靖彦	自然科学系(理)	080G5515	46	03	
コア	化学基礎B	2	講義	大鳥 範和	自然科学系(院自然)	080G5516	46	03	
コア	化学基礎B	2	講義	大鳥 範和	自然科学系(院自然)	080G5022	46	03	
コア	分析化学Ⅰ	2	講義	佐藤 敬一	自然科学系(理)	080S3002	46	03	
コア	無機化学Ⅱ	2	講義	工藤 久昭	自然科学系(理)	080S3007	46	03	
コア	有機化学Ⅰ	2	講義	洞口 高昭	自然科学系(理)	080S3010	46	03	
コア	化学熱力学	2	講義	大鳥 範和	自然科学系(院自然)	080S3016	46	03	
コア	生体分子化学Ⅰ	2	講義	堀米 恒好	自然科学系(理)	080S3024	46	03	
コア	基礎有機化学	2	講義	萩原 久大	自然科学系(院自然)	080T5005	47	03	
コア	基礎無機化学	2	講義	佐藤 峰夫	自然科学系(工)	080T5006	47	03	
コア	基礎物理化学	2	講義	木村 勇雄	自然科学系(院自然)	080T5007	47	03	
コア	化学プロセス概論	2	講義	山際 和明	自然科学系(院自然)	080T5048	55	04	
コア	分析化学	2	講義	今泉 洋	自然科学系(工)	080T5051	47	04	
コア	基礎無機化学	2	講義	佐藤 峰夫	自然科学系(工)	080T5006	47	04	
コア	基礎高分子化学	2	講義	山内 健	自然科学系(院自然)	080T7013	54	04	
コア	基礎電気化学	2	講義	安田 守宏	自然科学系(工)	080T7010	54	04	
コア	分析化学	2	講義	原田直樹	自然科学系(農)	080A2018	46	03	
コア	機器分析化学	2	講義	末吉 邦・他	自然科学系(農)	080A2017	61,46	03	
コア	食品化学	2	講義	城 斗志夫	自然科学系(農)	080A2003	61	03	
コア	生物化学Ⅰ	2	講義	三ツ井 敏明	自然科学系(農)	080A2011	61,57	04	
コア	生物有機化学	2	講義	星野 力	自然科学系(農)	080A2014	61,46	04	
関連	放射化学	2	講義	後藤 真一	機器分析センター	080S3009	46	04	
関連	有機化学Ⅱ	2	講義	洞口 高昭	自然科学系(理)	080S3011	46	03	
関連	凝縮系化学	2	講義	丸山 健二	自然科学系(理)	080S3023	46	04	
関連	高分子化学概論	2	講義	青木 俊樹	自然科学系(工)	080T5055	47	04	
関連	化学工学基礎	2	講義	伊東 章	自然科学系(工)	080T5057	55	04	
関連	反応工学Ⅰ	2	講義	田中 真人	自然科学系(工)	080T5058	55	04	
関連	拡散操作Ⅰ	2	講義	大川 輝	自然科学系(工)	080T5060	55	04	
関連	高分子材料化学	2	講義	坪川 紀夫	自然科学系(工)	080T7028	54	04	
関連	酵素工学	2	講義	谷口 正之	自然科学系(工)	080T7030	54	04	
関連	固体物性科学	2	講義	太田 雅壽	自然科学系(工)	080T7027	54	04	
関連	生物材料工学	2	講義	田中 孝明	自然科学系(工)	080T7031	54	04	
関連	酵素化学	2	講義	堀 秀隆	自然科学系(院自然)	080A2113	61,47	05	
関連	環境汚染物質化学	2	講義	野中 昌法	自然科学系(院技経)	080A2111	61	04	
関連	栄養生化学	2	講義	門脇 基二・他	自然科学系(農)	080A2108	61	05	
関連	生物機能物質化学	2	講義	佐藤 努	自然科学系(農)	080A2018	61	05	
関連	肥料学	2	講義	大山 卓爾・他	自然科学系(農)	080A2104	61	04	

備考：Rは「必修科目」を表す。
化学熱力学 なし

【趣旨】

第1条 この規則は、新潟大学学則（平成16年学則第1号）第45条の2第2項の規定に基づき、新潟大学における副専攻の認定等に関し必要な事項を定めるものとする。

【副専攻の目的】

第2条 副専攻は、学部及び学科又は課程の専攻に係る分野以外の特定分野又は特定課題について、授業科目を体系的に編成することにより、学生の多様な知的探究心と資質に即したプログラムを提供し、多元的理解力、統合的理解力等を育成することを目的とする。

【副専攻の区分】

第3条 副専攻は、そのプログラムの編成方法により、分野別副専攻及び課題別副専攻に区分する。

- 2 分野別副専攻のプログラムは、特定の分野の授業科目により編成するものとする。
- 3 課題別副専攻のプログラムは、特定の課題について幅広い分野にわたる授業科目により編成するものとする。
- 4 副専攻として開設するプログラムは、別表のとおりとする。

【認定の要件】

第4条 副専攻の認定を希望する学生は、第3年次末までに当該副専攻プログラムの入門科目として定める授業科目を履修し、その単位を修得しなければならない。

- 2 副専攻を認定することができる学生は、次に掲げる要件を満たすものとする。
 - (1) 当該副専攻プログラムの認定の対象となる別表に定める資格を有し、かつ所定の授業科目について24単位以上を修得していること。
 - (2) 卒業時の総修得単位数が、所属する学部の卒業要件単位数に12単位以上を加えたものであること。
 - (3) 卒業時まで履修したすべての授業科目について、次表の計算方法による1単位当たりの成績の平均値が2.5以上であること。

$$\frac{(\text{各授業科目の単位数} \times (\text{各授業科目の評価} - 50) \div 10) \text{の総和}}{\text{履修した各授業科目の単位数の総和}}$$

履修した各授業科目の単位数の総和

備考 この算式において「(各授業科目の評価-50)」の値が負の数となる場合は、その値を「0」とする。

【副専攻の認定申請】

第5条 副専攻の認定を受けようとする学生は、卒業年次の所定の期日までに副専攻の認定に係る申請を行わなければならない。

【副専攻の認定】

第6条 副専攻の認定は、全学教育機構委員会の議を経て全学教育機構長(以下「機構長」という。)が行う。

2 機構長は、前項により副専攻の認定を行ったときは、学長に報告するものとする。

【副専攻の認定証書の授与】

第7条 学長は、前条第2項による報告に基づき、副専攻の認定を受けた者に副専攻認定証書(別記様式)を授与する。

【雑則】

第8条 この規則に定めるもののほか、副専攻に関し必要な事項は、別に定める。

附 則

この規則は、平成17年4月1日から施行する。

附 則(平成18年3月31日規則第7号)

この規則は、平成18年4月1日から施行する。

※第3条第4項の別表、第7条の別記様式を除く。



問い合わせ先

〒950-2181 新潟市西区五十嵐2の町8050番地
新潟大学 学務部 教務課
電話 (025) 262-6303 FAX (025) 262-6304